

## 平成20年度国民健康保険特別会計予算執行の概要について

国民健康保険制度は、わが国の国民皆保険体制の基盤となる制度として重要な役割を果たしています。

これまで、数々の制度改善が行われながら地域保険としての基礎を固め、被用者保険と並ぶ医療保険の中核として、市民の医療、健康の保持増進に大きく貢献しております。平成20年度は、後期高齢者医療制度の創設で、75歳以上の方が、後期高齢者医療制度へ移行したため、国民健康保険特別会計の歳入歳出は減少しております。

しかしながら、最近の国民健康保険事業は、被保険者の高齢化、医療の高度化や社会構造の変化等により財政状況がますます厳しい情勢となっています。

このような中で本市としましては、国保財政充実強化の一環として国、県の基本方針に基づいた「新・国保3%推進運動」を積極的に推進いたしました。

その主なものは、

国民健康保険税の収納率を1%以上引き上げる。

医療費適正化対策等により医療費の1%以上の財政効果を上げる。

保健事業活動を推進するため、保健事業費として国民健康保険税の1%以上を確保する。

等であります。

国民健康保険税の収納率向上については、

収納率向上特別対策事業として、徴収嘱託員の訪問徴収の強化、口座振替の促進、休日及び夜間の臨戸徴収や納税相談の強化、広報活動の強化などに取り組みました。その結果、依然として厳しい経済情勢が続いておりますが、現年度分の収納率については、平成16年度は88%でありましたが、その後は89%から90%台を維持している状況にあります。

医療費の1%以上の財政効果を上げることについては、

レセプト点検の実施、医療費通知の実施、多受診世帯及び乱受診者把握と指導、第三者行為損害賠償請求事務への積極的取り組み及び広報事業を実施し、医療費適正化に取り組みました。

保健事業活動の推進については、

健康づくりに関する意識高揚のため、健康増進課と連携を図り諸々の事業の中で健康づくりを推進しました。

以上のような状況の中で運営された平成20年度国民健康保険特別会計の決算状況は、

歳入総額15,816,197千円で対前年度比3.2%の減、

歳出総額15,515,659千円で対前年度比4.1%の減、

歳入歳出差引額300,538千円を21年度へ繰り越しました。

以上、平成20年度つくば市国民健康保険特別会計の概要であります。主要施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

## 平成20年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
			国保	16,442,679		273,533	16,169,146	18,849,234	15,816,197	97.8
01			国民健康保険税	5,231,469		149,802	5,081,667	8,122,353	5,089,316	100.2
	01		国民健康保険税	5,231,469		149,802	5,081,667	8,122,353	5,089,316	100.2
		01	一般被保険者国民	5,018,519		213,572	4,804,947	7,787,678	4,809,528	100.1
		01	医療給付費分現年課税分	本年度 3,521,132		138,189	3,382,943	3,844,044	3,416,739	101.0
			前年度	4,393,524			4,393,524	4,880,850	4,314,038	98.2
			比較	872,392		138,189	1,010,581	1,036,806	897,299	
		02	介護納付金分現年課税分	本年度 298,167			298,167	342,734	300,127	100.7
			前年度	302,544			302,544	337,226	293,736	97.1
			比較	4,377			4,377	5,508	6,391	
		03	医療給付費分滞納繰越分	本年度 318,627		44,046	274,581	2,480,242	240,391	87.5
			前年度	305,169			305,169	2,318,958	239,625	78.5
			比較	13,458		44,046	30,588	161,284	766	
		04	介護納付金分滞納繰越分	本年度 24,168		4,203	19,965	180,494	16,638	83.3
			前年度	22,917			22,917	165,014	17,322	75.6
			比較	1,251		4,203	2,952	15,480	684	
		05	後期高齢者医療支援金分	本年度 856,425		27,134	829,291	940,164	835,633	100.8
			前年度							
			比較	856,425		27,134	829,291	940,164	835,633	
		02	退職被保険者等国	212,950		63,770	276,720	334,675	279,788	101.1
		01	医療給付費分現年課税分	本年度 143,465		42,211	185,676	190,829	186,780	100.6
			前年度	856,218			856,218	974,929	960,406	112.2
			比較	712,753		42,211	670,542	784,100	773,626	
		02	介護納付金分現年課税分	本年度 23,041		12,469	35,510	37,326	36,528	102.9
			前年度	47,311			47,311	50,639	49,694	105.0
			比較	24,270		12,469	11,801	13,313	13,166	
		03	医療給付費分滞納繰越分	本年度 10,417		1,814	8,603	55,339	9,459	110.0
			前年度	10,992			10,992	49,450	7,261	66.1
			比較	575		1,814	2,389	5,889	2,198	
		04	介護納付金滞納繰越分	本年度 813			813	3,810	668	82.2
			前年度	939			939	3,387	560	59.6
			比較	126			126	423	108	
		05	後期高齢者医療支援金分	本年度 35,214		10,904	46,118	47,371	46,353	100.5
			前年度							
			比較	35,214		10,904	46,118	47,371	46,353	
02			使用料及び手数料	1,500			1,500	2,573	2,573	171.5
	01		手数料	1,500			1,500	2,573	2,573	171.5
		01	督促手数料	1,500			1,500	2,573	2,573	171.5
		01	督促手数料	本年度 1,500			1,500	2,573	2,573	171.5
			前年度	1,500			1,500	2,634	2,634	175.6
			比較					61	61	
03			国庫支出金	5,367,363		1,085,037	4,282,326	4,018,784	4,018,784	93.8
	01		国庫負担金	4,601,307		1,085,037	3,516,270	3,443,249	3,443,249	97.9
		01	療養給付費等負担	4,507,110		1,085,037	3,422,073	3,361,612	3,361,612	98.2
		01	現年度分	本年度 4,507,110		1,124,142	3,382,968	3,322,506	3,322,506	98.2
			前年度	3,497,423		33,520	3,530,943	3,492,818	3,492,818	98.9
			比較	1,009,687		1,157,662	147,975	170,312	170,312	
		02	過年度分	本年度		39,105	39,105	39,106	39,106	100.0
			前年度							
			比較			39,105	39,105	39,106	39,106	
		02	高額療養費共同事業負担金	94,197			94,197	81,637	81,637	86.7
		01	高額療養費共同事業負担金	本年度 94,197			94,197	81,637	81,637	86.7
			前年度	80,362			80,362	76,465	76,465	95.2
			比較	13,835			13,835	5,172	5,172	
	02		国庫補助金	766,056			766,056	575,535	575,535	75.1
		01	財政調整交付金	754,622			754,622	564,226	564,226	74.8
		01	普通調整交付金	本年度 754,622			754,622	564,226	564,226	74.8
			前年度	749,622			749,622	616,636	616,636	82.3
			比較	5,000			5,000	52,410	52,410	
		×	特別調整交付金	本年度 3,450		735	4,185	137,187	137,187	3278.1
			前年度	3,450		735	4,185	137,187	137,187	
			比較							
	02		国庫補助金	11,434			11,434	11,309	11,309	98.9
		01	国庫補助金	本年度 11,434			11,434	11,309	11,309	98.9
			前年度							
			比較	11,434			11,434	11,309	11,309	

## 平成20年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
04				療養給付費交付金	378,989		368,382	747,371	676,049	676,049	90.5
	01			療養給付費交付金	378,989		368,382	747,371	676,049	676,049	90.5
		01		療養給付費交付金	378,989		368,382	747,371	676,049	676,049	90.5
			01	現年度分	本年度		343,875	695,364	624,042	624,042	89.7
				前年度	1,562,477		253,523	1,816,000	1,578,424	1,578,424	86.9
				比較	1,210,988		90,352	1,120,636	954,382	954,382	
			02	退職者等老人医療 費交付金	本年度		24,507	52,007	52,007	52,007	100.0
				前年度	330,000			330,000	396,183	396,183	120.1
				比較	302,500		24,507	277,993	344,176	344,176	
05				前期高齢者交付金	1,412,137		362,117	1,774,254	1,774,255	1,774,255	100.0
	01			前期高齢者交付金	1,412,137		362,117	1,774,254	1,774,255	1,774,255	100.0
		01		前期高齢者交付金	1,412,137		362,117	1,774,254	1,774,255	1,774,255	100.0
			01	前期高齢者交付金	本年度		362,117	1,774,254	1,774,255	1,774,255	100.0
				前年度							
				比較	1,412,137		362,117	1,774,254	1,774,255	1,774,255	
06				県支出金	857,153			857,153	780,165	780,165	91.0
	01			県補助金	762,956			762,956	698,528	698,528	91.6
		01		県補助金	762,956			762,956	698,528	698,528	91.6
			01	県補助金	本年度			762,956	698,528	698,528	91.6
				前年度	717,742			717,742	741,922	741,922	103.4
				比較	45,214			45,214	43,394	43,394	
		02		県負担金	94,197			94,197	81,637	81,637	86.7
			01	高額療養費共同事 業負担金	94,197			94,197	81,637	81,637	86.7
				本年度	94,197			94,197	81,637	81,637	86.7
				前年度	80,362			80,362	76,465	76,465	95.2
				比較	13,835			13,835	5,172	5,172	
07				共同事業交付金	1,788,949			1,788,949	1,830,002	1,830,002	102.3
	01			共同事業交付金	1,788,949			1,788,949	1,830,002	1,830,002	102.3
		01		高額療養費共同事 業交付金	301,000			301,000	364,005	364,005	120.9
				本年度	301,000			301,000	364,005	364,005	120.9
				前年度	240,000			240,000	311,526	311,526	129.8
				比較	61,000			61,000	52,479	52,479	
		02		保険財政共同安定 化事業交付金	1,487,949			1,487,949	1,465,997	1,465,997	98.5
			01	保険財政共同安定 化事業交付金	本年度			1,487,949	1,465,997	1,465,997	98.5
				前年度	1,387,203			1,387,203	1,403,278	1,403,278	101.2
				比較	100,746			100,746	62,719	62,719	
08				財産収入	46		8	54	53	53	98.1
	01			財産運用収入	46		8	54	53	53	98.1
		01		利子及び配当金	46		8	54	53	53	98.1
				本年度	46		8	54	53	53	98.1
				前年度	8		41	49	48	48	98.0
				比較	38		33	5	5	5	
09				繰入金	1,312,543		112,617	1,425,160	1,425,160	1,425,160	100.0
	01			他会計繰入金	1,312,543		112,617	1,425,160	1,425,160	1,425,160	100.0
		01		一般会計繰入金	1,312,543		112,617	1,425,160	1,425,160	1,425,160	100.0
			01	一般会計繰入金	本年度		188,830	970,373	970,372	970,372	100.0
				前年度	778,438		800	779,238	751,985	751,985	96.5
				比較	3,105		188,030	191,135	218,387	218,387	
		02		保険基盤安定繰入 金	本年度		76,213	454,787	454,788	454,788	100.0
				前年度	528,000			528,000	555,253	555,253	105.2
				比較	3,000		76,213	73,213	100,465	100,465	
10				繰越金	50,000		116,098	166,098	166,098	166,098	100.0
	01			繰越金	50,000		116,098	166,098	166,098	166,098	100.0
		01		療養給付費交付金	10,000		14,154	24,154			
				本年度	10,000		14,154	24,154			
				前年度	50,000		50,000				
				繰越金	40,000		64,154	24,154			
		02		その他の繰越金	40,000		101,944	141,944	166,098	166,098	117.0
			01	その他の繰越金	本年度		101,944	141,944	166,098	166,098	117.0
				前年度	1	3,500	270,833	274,334	274,335	274,335	100.0
				比較	39,999	3,500	168,889	132,390	108,237	108,237	
11				諸収入	42,530		2,084	44,614	53,742	53,742	120.5
	01			延滞金加算金及び 一般被保険者延滞 金	10,300			10,300	16,919	16,919	164.3
		01		一般被保険者延滞 金	10,000			10,000	16,642	16,642	166.4
				本年度	10,000			10,000	16,642	16,642	166.4
				前年度	10,000			10,000	12,290	12,290	122.9
				比較					4,352	4,352	

## 平成20年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
11	01	02	退職被保険者等延滞金	300			300	277	277	92.3
		01	退職被保険者等延滞金	300			300	277	277	92.3
			本年度	300			300	211	211	70.3
			前年度					66	66	
			比較							
	02		雑入	32,230		2,084	34,314	36,823	36,823	107.3
	01		一般被保険者第三者納付金	16,000			16,000	14,695	14,695	91.8
		01	一般被保険者第三者納付金	16,000			16,000	14,695	14,695	91.8
			本年度	16,000			16,000	17,886	17,886	111.8
			前年度					3,191	3,191	
			比較							
	02		退職被保険者等第三者納付金	150			150	3,984	3,984	2656.0
		01	退職被保険者等第三者納付金	150			150	3,984	3,984	2656.0
			本年度	150		1,554	1,704	3,813	3,813	223.8
			前年度					171	171	
			比較			1,554	1,554			
	03		一般被保険者返納金	1,000			1,000	1,744	1,744	174.4
		01	一般被保険者返納金	1,000			1,000	1,744	1,744	174.4
			本年度	1,000			1,000	3,382	3,382	302.5
			前年度			118	1,118	1,638	1,638	
			比較			118	118			
	04		退職被保険者等返納金	10			10			
		01	退職被保険者等返納金	10			10	74	74	740.0
			本年度	10			10	74	74	
			前年度							
			比較							
	05		特定健診納付金	15,070			15,070	6,176	6,176	41.0
		01	特定健診納付金	15,070			15,070	6,176	6,176	41.0
			本年度	15,070			15,070	6,176	6,176	
			前年度							
			比較							
	06		指定公費交付金			2,084	2,084	552	552	26.5
		01	指定公費交付金			2,084	2,084	552	552	26.5
			本年度							
			前年度							
			比較							
	07		高齢者医療制度円滑導入事業費補助金					807	807	
		01	高齢者医療制度円滑導入事業費補助金					807	807	
			本年度					807	807	
			前年度							
			比較							
	08		高額医療費共同事業拠出金返還金					8,865	8,865	
		01	高額医療費共同事業拠出金返還金					8,865	8,865	
			本年度					8,865	8,865	
			前年度							
			比較							
	x		雑入							
		x	雑入							
			本年度					3,813	3,813	
			前年度							
			比較					3,813	3,813	

## 事業名：国民健康保険事務に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	43,222		2,961	49	46,134	41,858	90.7	
				前年	44,734	3,500	1,135		49,369	46,208	93.6	
				比較	1,512	3,500	1,826	49	3,235	4,350		

## 1. 事業の目的

国民健康保険の資格事務及び給付事務を円滑に進める。

## 2. 事業の概要

国民健康保険資格の得喪、被保険者証の交付・更新、保険給付費の支給事務、各種受給者証の認定交付、貸付金の貸付、療養給付費負担金の実績報告、調整交付金申請、事業報告及びその他国民健康保険資格取得・給付に係る事務。

## 3. 事業の成果及び効果

国民健康保険に関する事務が円滑に処理された。

## 事業名：レセプト点検整理に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	12	本年	13,000			49	13,049	12,335	94.5	
				前年	11,143				11,143	10,667	95.7	
				比較	1,857			49	1,906	1,668		

## 1. 事業の目的

診療報酬明細書(レセプト)の内容点検と整理保管を行い、医療費の適正化を図る。

## 2. 事業の概要

レセプト点検員:嘱託員として4名雇用

レセプト整理保管:シルバー人材センターへ業務委託

## 3. 事業の成果及び効果

平成20年度レセプト点検件数:654,642件

平成20年度被保険者1人当たりの財政効果額:2,250円

## 事業名：徴税総務に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	01	11	本年	3,113				3,113	1,547	49.7	
				前年	3,097				3,097	2,613	84.4	
				比較	16				16	1,066		

## 1. 事業の目的

国民健康保険税を効率的に徴収する。

## 2. 事業の概要

国民健康保険税の口座振替を勧奨し、納付手続の簡素化を図った。

## 3. 事業の成果及び効果

国保税口座振替依頼件数:6,908件(第1期)

国保税口座振替納付額 :1,610,817千円

事業名：賦課徴収事務に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	02	11	本年	14,414				14,414	12,379	85.9	
				前年	14,319				14,319	12,195	85.2	
				比較	95				95	184		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険税の賦課徴収を円滑に行う。</p> <p>2. 事業の概要 国民健康保険被保険者に国民健康保険税を賦課し、徴収した。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度国民健康保険税収納額： 4,822,159千円 過年度267,156千円</p>												

事業名：保険税適正賦課及び収納率向上特別対策に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	02	12	本年	20,436				20,436	16,709	81.8	
				前年	17,901				17,901	17,120	95.6	
				比較	2,535				2,535	411		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険税の現年度収納・滞納繰越分の徴収を円滑に行う。</p> <p>2. 事業の概要 特別調整交付金の交付を受け、国保税の収納率向上対策事業を実施し、課員による休日訪問徴収・納税相談をはじめ国保税徴収嘱託員7名を雇用し、現年度・滞納繰越分の国民健康保険税の収納に努めた。また納税者の希望に応じたコンビニ納付を開始した。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 徴収嘱託員による国民健康保険税収納件数：6,470件 訪問件数：11,716件 " 収納額：119,615千円（国民健康保険税100,212千円,市税その他16,713,030千円） コンビニ納付(20.4.1-21.3.31計上) 2,618件 収納額 28,340千円</p>												

事業名：運営協議会に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	03	01	11	本年	931				931	363	39.0	
				前年	923				923	474	51.4	
				比較	8				8	111		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険運営協議会は、国民健康保険制度の安定的な運営を図るため、必要な意見の交換や審議さらに具申等を行う。</p> <p>2. 事業の概要 運営協議会委員：被保険者代表6名、医薬代表6名、公益代表6名 7月及び2月に国民健康保険運営協議会を開催</p> <p>3. 事業の成果及び効果 国民健康保険の運営に関し必要な意見の交換や審議等を行い、国民健康保険制度の安定的な運用を図った。</p>												

## 事業名：一般被保険者療養給付費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	11	本年	8,809,838		391,167		8,418,671	8,192,546	97.3	
				前年	6,546,104		45,767		6,591,871	6,585,863	99.9	
				比較	2,263,734		436,934		1,826,800	1,606,683		

## 1. 事業の目的

一般被保険者が疾病や負傷により保険医療機関で受診した場合、国民健康保険法第36条第1項の規定に基づいて療養の給付を行う。

## 2. 事業の概要

一般被保険者数(年間平均): 49,202人

一般被保険者受診件数: 617,721件

一般被保険者費用額: 11,368,894,472円

一般被保険者一部負担金: 2,687,101,173円

## 3. 事業の成果及び効果

一般被保険者の疾病や負傷等の診療に対し、医療機関を通し現物で給付した。

一般被保険者に対する保険者負担額: 8,192,545,694円

## 事業名：退職被保険者等療養給付費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	11	本年	492,690		187,053		679,743	615,504	90.5	
				前年	2,206,742		263,523		2,470,265	2,328,366	94.3	
				比較	1,714,052		76,470		1,790,522	1,712,862		

## 1. 事業の目的

退職被保険者等が疾病や負傷により保険医療機関で受診した場合、国民健康保険法第36条第1項の規定に基づいて療養の給付を行う。

## 2. 事業の概要

退職被保険者等数(年間平均): 2,319人

退職被保険者等受診件数: 40,327件

退職被保険者等費用額: 833,531,426円

退職被保険者等一部負担金: 217,660,072円

## 3. 事業の成果及び効果

退職被保険者等の疾病や負傷等の診療に対し、医療機関を通し現物で給付した。

退職被保険者等に対する保険者負担額: 615,503,518円

## 事業名：一般被保険者療養費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	11	本年	85,771			320	85,451	81,908	95.9	
				前年	76,800				76,800	72,792	94.8	
				比較	8,971			320	8,651	9,116		

## 1. 事業の目的

一般被保険者が国民健康保険法第54条第1項及び第2項の規定に基づいて治療費を支払った場合、療養費に相当する額を被保険者に支給する。

## 2. 事業の概要

一般被保険者療養費支給件数: 11,878件

一般被保険者療養費費用額: 112,652,650円

一般被保険者療養費一部負担金: 29,477,854円

3. 事業の成果及び効果

療養の給付等で果たせなかった役割を補完するものとして、一定の支給要件を備えた場合に限り現金で給付し、一般被保険者の負担の軽減を図った。

一般被保険者療養費支給額: 81,908,238円

事業名：退職被保険者等療養費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	04	11	本年	3,249		3,158	320	6,727	5,993	89.1	
				前年	18,640				18,640	16,596	89.0	
				比較	15,391		3,158	320	11,913	10,603		

1. 事業の目的

退職被保険者等が国民健康保険法第54条第1項及び第2項の規定に基づいて治療費を支払った場合、療養費に相当する額を被保険者に支給する。

2. 事業の概要

退職被保険者等療養費支給件数: 763件

退職被保険者等療養費費用額: 7,971,903円

退職被保険者等療養費一部負担金: 2,069,820円

3. 事業の成果及び効果

療養の給付等で果たせなかった役割を補完するものとして、一定の支給要件を備えた場合に限り現金で給付し、退職被保険者等の負担の軽減を図った。

退職被保険者等療養費支給額: 5,993,370円

事業名：審査支払に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	05	11	本年	43,297				43,297	42,835	98.9	
				前年	43,297				43,297	42,666	98.5	
				比較						169		

1. 事業の目的

診療報酬支払明細書の審査及び支払に関し、国保連合会へ手数料を支払う。

2. 事業の概要

療養給付費審査件数: 649,927件

療養給付費審査手数料: 41,595,328円

療養費審査件数: 12,466件

療養費審査手数料: 797,824円

レセプト電算処理件数: 649,359件

レセプト電算処理手数料: 441,564円

3. 事業の成果及び効果

診療報酬支払及び審査の事務が円滑に処理することができた。

事業名：一般被保険者高額療養費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	11	本年	963,759				963,759	884,341	91.8	
				前年	749,789		46,767		703,022	675,100	96.0	
				比較	213,970		46,767		260,737	209,241		

1. 事業の目的  
一般被保険者が同一月に同一の診療科目に受診し限度額を超えて医療費を負担した場合、超えた分について高額療養費として支給する。

2. 事業の概要

一般被保険者高額療養費支給件数: 11,311件  
一般被保険者高額療養費支給額: 884,341,355円

3. 事業の成果及び効果

一般被保険者の高額な一部負担の軽減を図った。

事業名：退職被保険者等高額療養費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	11	本年	45,865		49,981		95,846	86,452	90.2	
				前年	204,330		10,000		194,330	175,465	90.3	
				比較	158,465		59,981		98,484	89,013		

1. 事業の目的  
退職被保険者等が同一月に同一の診療科目に受診し限度額を超えて医療費を負担した場合、超えた分について高額療養費として支給する。

2. 事業の概要

退職被保険者等高額療養費支給件数: 978件  
退職被保険者等高額療養費支給額: 86,451,808円

3. 事業の成果及び効果

退職被保険者等の高額な一部負担の軽減を図った。

事業名：葬祭に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	01	11	本年	24,000		9,650		14,350	11,400	79.4	
				前年	42,000				42,000	39,950	95.1	
				比較	18,000		9,650		27,650	28,550		

1. 事業の目的  
国民健康保険被保険者が死亡したとき、国民健康保険法第38条第1項の規定に基づき、葬祭を行った方の負担を軽減するために葬祭費を支給する。

2. 事業の概要

被保険者の葬祭費の補助金として1件50,000円を補助した。  
葬祭費支給件数: 228件  
葬祭費支給額: 11,400,000円

3. 事業の成果及び効果

国民健康保険被保険者の葬祭に際して、補助金を支給し葬祭者の負担の軽減を図った。

事業名：出産育児一時金に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	01	11	本年	130,200				130,200	115,170	88.5	
				前年	130,200				130,200	130,150	100.0	
				比較						14,980		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険被保険者が出産したとき、国民健康保険法第58条第1項の規定に基づき、出生児一人ごとに出産育児一時金を支給する。</p> <p>2. 事業の概要 出産育児一時金として1件当たり、380,000円を補助した。(H20年12月までは、350,000円補助) 出産育児一時金支給件数:324件 出産育児一時金支給額:115,170,000円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 国民健康保険被保険者の出産に際し、育児一時金を支給し負担の軽減を図った。</p>												

事業名：一般被保険者移送に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	01	11	本年	50				50	0	0.0	
				前年	50				50	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 一般被保険者が療養の給付を受けるため病院等へ移送されたとき、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する。</p> <p>2. 事業の概要 一般被保険者移送費支給件数：0件 一般被保険者移送費支給額：0円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 一般被保険者の移送費の請求はなかった。</p>												

事業名：退職被保険者等移送に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	11	本年	50				50	0	0.0	
				前年	50				50	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 退職被保険者等が療養の給付を受けるため病院等へ移送されたとき、国民健康保険法第54条の4の規定に基づき、移送費を支給する</p> <p>2. 事業の概要 退職被保険者等移送費支給件数：0件 退職被保険者移送費支給額：0円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 退職被保険者等の移送費の請求はなかった。</p>												

## 事業名：後期高齢者医療支援金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	1,836,543		194,538		2,031,081	2,031,081	100.0	
				前年								
				比較	1,836,543		194,538		2,031,081	2,031,081		
<p>1. 事業の目的 平成20年4月からの高齢者医療制度の制定に伴い、75歳以上の後期高齢者の医療費に対し、保険者間の費用負担の調整として拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 後期高齢者の医療費に対し、保険者間の費用負担の調整として、社会保険診療報酬支払基金への拠出金により支援を行う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度実績額：2,031,080,682円</p>												

## 事業名：後期高齢者関係事務費拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	11	本年	560		273		287	287	100.0	
				前年								
				比較	560		273		287	287		
<p>1. 事業の目的 平成20年4月からの高齢者医療制度の制定に伴い、75歳以上の後期高齢者の事務費に対し、保険者間の費用負担の調整として拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 後期高齢者の事務費に対し、保険者間の費用負担の調整として、社会保険診療報酬支払基金への拠出金により支援を行う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度実績額：286,988円</p>												

## 事業名：前期高齢者医療拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	11	本年	169,251		165,519		3,732	3,731	100.0	
				前年								
				比較	169,251		165,519		3,732	3,731		
<p>1. 事業の目的 平成20年4月からの高齢者医療制度の制定に伴い、65歳以上の前期高齢者の医療費に対し、保険者間の費用負担の調整として拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 前期高齢者の医療費に対し、保険者間の費用負担の調整として、社会保険診療報酬支払基金への拠出金により支援を行う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度実績額：3,730,849円</p>												

事業名：前期高齢者事務費拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
04	01	02	11	本年	2,819		2,494		325	324	99.7		
				前年									
				比較	2,819		2,494		325	324			
<p>1. 事業の目的 平成20年4月からの高齢者医療制度の制定に伴い、65歳以上の前期高齢者の事務費に対し、保険者間の費用負担の調整として拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 前期高齢者の事務費に対し、保険者間の費用負担の調整として、社会保険診療報酬支払基金への拠出金により支援を行う。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度実績額：324,190円</p>													

事業名：老人保健医療費拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	01	11	本年	507,141		169,409	209	337,523	337,522	100.0	
				前年	2,831,004		134,885		2,965,889	2,965,889	100.0	
				比較	2,323,863		304,294	209	2,628,366	2,628,367		
<p>1. 事業の目的 国保老人保健該当者の保険者負担分の医療費を医療費拠出金として拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 老人保健医療費拠出金：337,522,349円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 老人保健制度に基づいて、医療費を拠出し制度の堅持を図った。</p>												

事業名：老人保健事務費拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	11	本年	2,805			209	3,014	3,014	100.0	
				前年	33,813		414		33,399	33,398	100.0	
				比較	31,008		414	209	30,385	30,384		
<p>1. 事業の目的 老人保健の事務処理に係る経費を事務費として、社会保険診療報酬支払基金へ拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 老人保健事務費拠出金：3,013,875円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 老人保健制度に基づいて、事務費を拠出し制度の充実を図った。</p>												

事業名：介護納付金に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	11	本年	989,768		103,157		886,611	886,611	100.0	
				前年	1,033,728		99,037		934,691	934,691	100.0	
				比較	43,960		4,120		48,080	48,080		

1. 事業の目的  
40歳以上65歳未満の国民健康保険被保険者(第2号被保険者)が負担する介護保険料を介護納付金として納付する。
2. 事業の概要  
第2号被保険者数(年間平均):18,920人  
介護納付金:886,610,634円
3. 事業の成果及び効果  
介護保険制度に基づき,介護納付金を納付し制度の維持を図った。

事業名：高額医療共同事業医療費拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	01	11	本年	376,792				376,792	326,458	86.6	
				前年	321,451				321,451	305,832	95.1	
				比較	55,341				55,341	20,626		

1. 事業の目的  
国民健康保険の高額な医療費に対応するため,保険者が共同して一定額を拠出する。
2. 事業の概要  
高額医療共同事業該当件数:1,075件(費用額が80万円以上)  
高額医療共同事業該当金額:364,004,905円(費用額が80万円を超えた金額の計)  
高額医療共同事業拠出金:326,458,188円
3. 事業の成果及び効果  
一般被保険者高額療養費884,341,355円の内364,004,905円を高額医療共同事業から交付を受けた。

事業名：その他共同事業拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	11	本年	10				10	5	50.0	
				前年	10				10	7	70.0	
				比較						2		

1. 事業の目的  
退職医療制度に該当する年金受給者を勧奨するため,年金受給者一覧作成に係る経費を保険者が共同して拠出する。
2. 事業の概要  
その他医療共同事業拠出金:5,220円
3. 事業の成果及び効果  
退職医療制度該当者の適用の適正化が図られた。

## 事業名：保険財政共同安定化事業拠出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	11	本年	1,487,949				1,487,949	1,395,543	93.8	
				前年	1,387,203				1,387,203	1,355,150	97.7	
				比較	100,746				100,746	40,393		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険の財政の安定化を図るため、高額医療費共同事業に準ずる高額な医療費に対応するため、保険者が共同して一定額を拠出する。</p> <p>2. 事業の概要 保険財政共同安定化事業該当件数: 5,810件(費用額が30万円以上80万円未満) 保険財政共同安定化事業該当金額: 1,465,997,108円(費用額が30万円以上80万円未満の金額の計) 保険財政共同安定化事業拠出金: 1,395,542,718円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 保険財政共同安定化事業に対する費用として、1,465,997,108円の交付を受けた。</p>												

## 事業名：保健事業に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	11	本年	10,468				10,468	8,870	84.7	
				前年	41,853		1,316		43,169	38,769	89.8	
				比較	31,385		1,316		32,701	29,899		
<p>1. 事業の目的 国保加入者をはじめ、広く市民の健康の保持増進を図り、医療費の適正化を推進する。</p> <p>2. 事業の概要 ・人間ドック等助成: 47件822,500円 ・医療費通知: 保険診療を受けた国保被保険者へ、医療費の内訳を年6回お知らせし、医療費の抑制を図った。 ・冊子配布: 国保制度及び健康の保持増進の啓蒙を図るために冊子を配布した。 ・食生活改善推進員による健康教室を支援した。 ・健康管理備品をいきいきプラザや各保健センターへ配置し、市民の健康管理及び健康の増進を図った。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 上記の事業を行い、国民健康保険被保険者をはじめ広く市民の健康の保持増進を図った。</p>												

## 事業名：特定健診事業に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
08	01	01	12	本年	150,704		30,260		120,444	78,667	65.3		
				前年									
				比較	150,704		30,260		120,444	78,667			
<p>1. 事業の目的 現在、国民医療費の約3割が生活習慣病で、死亡数割合では約6割を占めている。このことから、40歳から75歳となる人を対象に、特定健診を実施し、生活習慣病の早期発見並びに特定保健指導等を行い将来的な医療費の抑制につなげる。</p> <p>2. 事業の概要 健診受診者: 7,102人 特定保健指導者: 64人 人間ドック等助成: 1,279件 26,187,500円</p>													

3. 事業の成果及び効果

上記の事業実施により、健診結果の伝達、理想的な生活習慣に係る一般的な情報提供がおこなえた。

事業名：基金積立金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	11	本年	46		8		54	53	98.1	
				前年	8		41		49	48	98.0	
				比較	38		33		5	5		
<p>1. 事業の目的 余剰金及び積立基金利子等が生じた場合、国民健康保険支払準備基金へ積立てる。</p> <p>2. 事業の概要 平成20年度基金積立金: 53,026円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度末国民健康保険支払準備基金現在高: 18,444,091円</p>												

事業名：一般被保険者保険税還付金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	01	11	本年	17,688		2,000		19,688	19,630	99.7	
				前年	17,779		1,000		18,779	17,735	94.4	
				比較	91		1,000		909	1,895		
<p>1. 事業の目的 納付された一般被保険者国民健康保険税に、還付の事由が生じた場合、還付する。</p> <p>2. 事業の概要 還付件数: 834件 還付金額: 19,630,012円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 一般被保険者国民健康保険税の適正な賦課徴収が、図られた。</p>												

事業名：退職被保険者等保険税還付金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	11	本年	430				430	326	75.8	
				前年	385				385	271	70.4	
				比較	45				45	55		
<p>1. 事業の目的 納付された退職被保険者等国民健康保険税に、還付の事由が生じた場合、還付する。</p> <p>2. 事業の概要 還付件数: 19件 還付金額: 323,600円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 退職被保険者等国民健康保険税の適正な賦課徴収が、図られた。</p>												

## 事業名：一般被保険者償還金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	03	11	本年	1				1			
				前年	1		46,995		46,996	46,995	100.0	
				比較			46,995		46,995	46,995		
<p>1. 事業の目的 一般被保険者の医療費に充てる療養給付費等負担金に返還の事由が生じた場合償還する。</p> <p>2. 事業の概要 療養給付費等負担金は概算で交付され、実績に基づいて翌年度精算する。負担金に超過交付があった場合は、償還金として返還する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成19年度の療養給付費等負担金の精算はなし。</p>												

## 事業名：退職被保険者等償還金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	04	11	本年	1		29,048		29,049	29,049	100.0	
				前年	1		5,338		5,339	5,338	100.0	
				比較			23,710		23,730	23,711		
<p>1. 事業の目的 退職被保険者等の医療費に充てる療養給付費交付金に返還の事由が生じた場合、償還する。</p> <p>2. 事業の概要 療養給付費交付金は概算で交付され、実績に基づいて翌年度精算する。交付金に超過交付があった場合は償還金として返還する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成19年度の療養給付費等負担金の精算として、29,048,729円を償還した。</p>												

## 事業名：一般会計繰出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	11	本年	1		126,155		126,156	126,156	100.0	
				前年	1		166,542		166,543	166,543	100.0	
				比較			40,387		40,387	40,387		
<p>1. 事業の目的 国民健康保険特別会計において繰越金が生じた場合、一般会計からの繰入金の範囲内で一般会計へ繰り出す。</p> <p>2. 事業の概要 国民健康保険特別会計において平成19年度から平成20年度への繰越金が生じたので、平成19年度の一般会計からの繰入金の範囲内で繰り出した。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 一般会計繰出金:126,156,000円</p>												

## 事業名：指定公費支出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
10	03	01	11	本年			2,084		2,084	708	34.0		
				前年									
				比較			2,084		2,084	708			
<p>1. 事業の目的 70歳から74歳の方の療養に係る一部負担金の割合については、平成20年4月1日以降1割から2割に見直されたが、経過措置により平成22年3月31日までは、1割負担とし、残り1割は、国による指定公費をで賄う。</p> <p>2. 事業の概要 平成20年4月1日から平成21年3月31日までに受けた療養は、当該療養に係る一部負担金等の一部に相当する額を月ごとに茨城県国民健康保険団体連合会へ請求する。 指定公費請求件数530件</p> <p>3. 事業の成果及び効果 70歳から74歳の被保険者の療養費一部負担金の軽減。</p>													

## 事業名：予備費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
11	01	01	11	本年	50,000				50,000	0	0.0	
				前年	50,000				50,000	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 保険給付費等の予測しがたい支出の増加に備える。</p> <p>2. 事業の概要 20年度は、予備費の充用は、生じなかった。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

## 平成20年度つくば市下水道事業特別会計予算執行の概要について

本年度決算については、歳入済額11,794,165千円、歳出済額11,620,918千円、歳入歳出差引残金は173,247千円となりますが、このうち12,332千円が翌年度への繰越明許費繰越額に、18,632千円が事故繰越繰越額となり、これを差し引いた実質収支額142,283千円を全額翌年度の財源として繰り越します。

本年度も厳しい財政状況の中ではありましたが、昨年度に引き続き幹線及び枝線管渠の整備推進を図り、つくばエクスプレス沿線開発地区及び周辺地区において供用開始区域の拡大を行い、併せて公共下水道の普及促進に努めました。

以上、平成20年度つくば市下水道事業特別会計決算の概要であります。主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01				下水道	9,932,485	2,356,775	1,625,896	13,915,156	12,510,077	11,794,165	84.8
01				分担金及び負担金	128,952		30,000	98,952	175,525	67,186	67.9
01				分担金	4			4	2,026	1,771	44275.0
01		01		下水道費分担金	4			4	2,026	1,771	44275.0
01		01	01	公共下水道事業分 担金	1			1	1,650	1,619	161900.0
				前年度	1			1	4,487	4,455	445500.0
				比較					2,837	2,836	
01		02		公共下水道事業分 担金滞納繰越分	1			1	82		
				前年度	1			1	50		
				比較					32		
01		03		特定環境保全公共 下水道事業分担金	1			1	152	152	15200.0
				前年度	1			1	900	900	90000.0
				比較					748	748	
01		04		特定環境保全公共 下水道分担金滞納 繰越分	1			1	142		
				前年度	1			1	142		
				比較							
02				負担金	128,948		30,000	98,948	173,499	65,415	66.1
02		01		下水道費負担金	73,948			73,948	148,499	65,415	88.5
02		01	01	公共下水道事業負 担金	40,946			40,946	36,406	32,801	80.1
				前年度	99,130			99,130	95,197	90,618	91.4
				比較	58,184			58,184	58,791	57,817	
02		02		公共下水道事業負 担金滞納繰越分	1,000			1,000	38,516	1,529	152.9
				前年度	1,500			1,500	41,568	821	54.7
				比較	500			500	3,052	708	
02		03		特定環境保全公共 下水道事業負担金	31,002			31,002	32,939	29,670	95.7
				前年度	86,704			86,704	81,515	77,587	89.5
				比較	55,702			55,702	48,576	47,917	
02		04		特定環境保全公共 下水道負担金滞納 繰越分	1,000			1,000	40,638	1,415	141.5
				前年度	1,500			1,500	41,981	623	41.5
				比較	500			500	1,343	792	
02		02		下水道建設負担金	55,000		30,000	25,000	25,000		
02		01		つくばエクスプレ ス関連公共下水道 県負担金	55,000		30,000	25,000	25,000		
				前年度							
				比較	55,000		30,000	25,000	25,000		
02				使用料及び手数料	3,490,490			3,490,490	3,721,705	3,591,664	102.9
02		01		使用料	3,490,150			3,490,150	3,720,892	3,590,851	102.9
02		01		下水道使用料	3,490,150			3,490,150	3,720,892	3,590,851	102.9
02		01	01	下水道使用料	3,465,150			3,465,150	3,586,969	3,542,748	102.2
				前年度	3,363,749			3,363,749	3,520,825	3,462,380	102.9
				比較	101,401			101,401	66,144	80,368	
02		02		下水道使用料滞納 繰越分	25,000			25,000	133,923	48,103	192.4
				前年度	25,000			25,000	146,996	48,493	194.0
				比較					13,073	390	
02				手数料	340			340	813	813	239.1
02		01		下水道手数料	340			340	813	813	239.1
02		01	01	下水道手数料	240			240	618	618	257.5
				前年度	240			240	222	222	92.5
				比較					396	396	
02		02		督促手数料	100			100	195	195	195.0
				前年度	100			100	306	306	306.0
				比較					111	111	
03				国庫支出金	784,800	842,565	85,000	1,712,365	1,712,365	1,234,833	72.1
03		01		国庫補助金	784,800	842,565	85,000	1,712,365	1,712,365	1,234,833	72.1
03		01		下水道費国庫補助 金	784,800	842,565	85,000	1,712,365	1,712,365	1,234,833	72.1
03		01	01	公共下水道費国庫 補助金	479,800	787,365	16,398	1,250,767	1,250,767	929,735	74.3
				前年度	1,388,000	437,300	335,500	1,489,800	1,489,800	702,435	47.1
				比較	908,200	350,065	319,102	239,033	239,033	227,300	
03		02		特定環境保全公共 下水道費国庫補助 金	305,000	55,200	101,398	461,598	461,598	305,098	66.1
				前年度	215,400	12,800	41,600	269,800	269,800	214,600	79.5
				比較	89,600	42,400	59,798	191,798	191,798	90,498	
04				財産収入	499		156	655	653	653	99.7
04		01		財産運用収入	499		156	655	653	653	99.7
04		01		利子及び配当金	499		156	655	653	653	99.7
04		01	01	利子及び配当金	499		156	655	653	653	99.7
				前年度	21		500	521	521	521	100.0
				比較	478		344	134	132	132	

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
05				繰入金	2,497,140		20,000	2,477,140	2,450,140	2,450,140	98.9
	01			一般会計繰入金	2,447,140		30,000	2,477,140	2,450,140	2,450,140	98.9
		01		一般会計繰入金	2,447,140		30,000	2,477,140	2,450,140	2,450,140	98.9
			01	一般会計繰入金	2,447,140		30,000	2,477,140	2,450,140	2,450,140	98.9
				本年度	2,220,255			2,220,255	2,220,255	2,220,255	100.0
				前年度							
				比較	226,885		30,000	256,885	229,885	229,885	
		02		基金繰入金	50,000		50,000				
			01	下水道事業基金繰	50,000		50,000				
			01	下水道事業基金繰	50,000		50,000				
				本年度	50,000		50,000				
				前年度	99,000		99,000				
				比較	49,000		49,000				
06				繰越金	50,000	4,010	175,990	230,000	230,001	230,001	100.0
	01			繰越金	50,000	4,010	175,990	230,000	230,001	230,001	100.0
		01		繰越金	50,000	4,010	175,990	230,000	230,001	230,001	100.0
			01	繰越金	50,000	4,010	175,990	230,000	230,001	230,001	100.0
				本年度	50,000	4,010	175,990	230,000	230,001	230,001	100.0
				前年度	65,000	10,662	163,685	239,347	239,347	239,347	100.0
				比較	15,000	6,652	12,305	9,347	9,346	9,346	
07				諸収入	4			4	2,062	2,062	51550.0
	01			延滞金加算金及び	1			1	335	335	33500.0
		01		延滞金	1			1	335	335	33500.0
			01	延滞金	1			1	335	335	33500.0
				本年度	1			1	84	84	8400.0
				前年度	1			1			
				比較					251	251	
		02		雑入	3			3	1,727	1,727	57566.7
			01	雑入	3			3	1,727	1,727	57566.7
			01	雑入	2			2	1,727	1,727	86350.0
				本年度	2			2	1,498	1,498	16644.4
				前年度	9			9			
				比較	7			7	229	229	
		02		下水道事業消費税	1			1			
				還付金	33,745		33,745				
				本年度	33,745		33,745				
				前年度							
				比較	33,744		33,745				
08				市債	2,980,600	1,510,200	1,414,300	5,905,100	4,217,500	4,217,500	71.4
	01			市債	2,980,600	1,510,200	1,414,300	5,905,100	4,217,500	4,217,500	71.4
		01		下水道債	2,980,600	1,510,200	1,414,300	5,905,100	4,217,500	4,217,500	71.4
			01	公共下水道事業債	2,149,800	1,316,200	95,500	3,561,500	2,142,200	2,142,200	60.1
				本年度	2,784,900	599,900	372,900	3,011,900	1,695,700	1,695,700	56.3
				前年度	635,100	716,300	468,400	549,600	446,500	446,500	
				比較	714,000	118,100	101,300	933,400	720,400	720,400	77.2
			02	特定環境保全公共	634,600	12,800	39,600	687,000	568,900	568,900	82.8
				下水道事業債	79,400	105,300	61,700	246,400	151,500	151,500	
				本年度	116,800	75,900	21,600	214,300	159,000	159,000	74.2
				前年度	143,700	34,300	1,400	176,600	100,700	100,700	57.0
				比較	26,900	41,600	23,000	37,700	58,300	58,300	
			04	公営企業金融公庫			1,195,900	1,195,900	1,195,900	1,195,900	100.0
				補償金免除繰上償			323,389	323,389	323,200	323,200	99.9
				還借換債			872,511	872,511	872,700	872,700	
				本年度			872,511	872,511	872,700	872,700	
				前年度							
				比較							
09				県支出金			450	450	126	126	28.0
	01			県補助金			450	450	126	126	28.0
		01		下水道費県補助金			450	450	126	126	28.0
			01	下水道費県補助金			450	450	126	126	28.0
				本年度			450	450	126	126	28.0
				前年度							
				比較			450	450	126	126	

事業名：下水道総合調整に要する経費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	01	11	本年	12,651		236,713		249,364	248,670	99.7	
				前年	6,734		83,815		90,549	90,002	99.4	
				比較	5,917		152,898		158,815	158,668		
<p>1. 事業の目的 下水道事業の総合調整に関する事務</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 通信運搬費 各種団体負担金及び補助金 庁舎管理負担金 基金積み立て 消費税納付</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 各種団体と円滑に連携して、会議・研修等を通じ職員の知識の向上、さらには下水道事業の推進に当たった。</p>												

事業名：上下水道審議会に要する経費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	01	12	本年	450		450			0	0.0	
				前年	450		450			0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 上下水道審議会(下水道に関することに限る)を開催するための経費</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 20年度は開催していない。</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

事業名：使用料賦課徴収事務に要する経費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	01	13	本年	161,345				161,345	137,986	85.5	
				前年	212,687		37,205		175,482	168,413	96.0	
				比較	51,342		37,205		14,137	30,427		
<p>1. 事業の目的 使用料を徴収することにより、下水道施設の維持管理及び修繕等に要する経費並びに資本費の一部に充当するための財源を確保する。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 上下水道料金徴収業務委託(水道業務課) 過誤納還付金</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 収納額 現年度分 3,542,748千円(収納率 98.77%) 滞納繰越分 48,103千円(収納率 35.92%)</p>												

事業名：受益者負担金賦課徴収事務に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	01	14	本年	18,760				18,760	17,161	91.5	
				前年	29,119		4,078		25,041	24,539	98.0	
				比較	10,359		4,078		6,281	7,378		
<p>1. 事業の目的 新規に供用開始となる区域内の土地について、受益者負担金を賦課徴収することにより、公共下水道事業に要する費用の一部に充てることを目的とする。</p> <p>2. 事業の概要 受益者負担金の賦課対象区域の決定及び徴収 前納報奨金の交付 電算処理委託</p> <p>3. 事業の成果及び効果 受益者負担金を徴収し、下水道建設費の一部に充てた。 収納額 公共:現年分 32,801千円(収納率 90.10%):過年度分 1,528千円 特環:現年分 29,670千円(収納率 90.08%):過年度分 1,415千円</p>												

事業名：下水道維持管理に要する経費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	02	11	本年	1,924,649		87,961	2,644	1,839,332	1,830,945	99.5	
				前年	1,926,240				1,926,240	1,880,441	97.6	
				比較	1,591		87,961	2,644	86,908	49,496		
<p>1. 事業の目的 下水道施設及び管渠の維持管理、修繕に関する事務</p> <p>2. 事業の概要 中継ポンプ場23カ所、汚水マンホールポンプ214カ所、流量計38カ所、調整池6カ所、樋門1カ所 圧力下水道11カ所、雨水排水施設1カ所</p> <p>3. 事業の成果及び効果 施設の適切な維持管理を行い、運転の安全性を確保した。</p>												

事業名：都市下水路維持管理に要する経費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
01	01	03	11	本年	18,932		3,000		15,932	13,896	87.2	
				前年	15,932				15,932	11,316	71.0	
				比較	3,000		3,000		2,580			
<p>1. 事業の目的 都市下水路の維持管理、修繕に関する事務</p> <p>2. 事業の概要 花室川、蓮沼川、小野川、稲荷川の各都市下水路の維持管理、修繕</p> <p>3. 事業の成果及び効果 都市下水路施設の適切な維持管理を行い、安全性を確保した。</p>												

事業名：下水道整備計画に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	01	11	本年	4,543		1,795		2,748	2,431	88.5	
				前年	403				403	335	83.1	
				比較	4,140		1,795		2,345	2,096		
<p>1. 事業の目的                      経済的、効率的な下水道整備を目的とする下水道整備計画又、平成20年度は、事業の継続の検証を目的とする事業の再評価を実施。(国交省所管公共事業の再評価実施要領に基づき、事業採択後長期間が経過している事業について、10年毎に再評価を実施することになっている。)</p> <p>2. 事業の概要                      下水道整備計画に伴う関係機関との連絡調整。                      再評価については、下水道を整備して維持管理していく場合の金額(費用:C)と、下水道が整備されなかった場合の代替費用(便益:B)でB/Cを算出する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      霞ヶ浦常南及び小貝川東部流域関連の事業実施計画等について、関係機関との連絡調整を行いながら、計画的な事業の執行を図った。                      再評価については、B/Cの結果が2.12となり、事業の効率性が再評価委員会にて確認された。</p>												

事業名：公共下水道建設に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	02	11	本年	328,678	9,290	18,700	15,873	303,395	282,549	93.1	14,579
				前年	468,374	41,605	10,000		499,979	485,764	97.2	9,290
				比較	139,696	32,315	8,700	15,873	196,584	203,215		5,589
<p>1. 事業の目的                      市民の安全で快適な生活環境を確保し、公共水域の水質汚濁を防止するため、普及率の向上を目指し、市街地隣接区域の整備を重点的に推進する。</p> <p>2. 事業の概要                      下水道管布設 17箇所 3,110m</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      約18.7haの整備が完了する。</p>												

事業名：特定環境保全公共下水道建設に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	03	11	本年	1,125,224	175,273	202,795		1,503,292	1,159,211	77.1	340,500
				前年	944,581	26,675	83,200		1,054,456	872,220	82.7	175,273
				比較	180,643	148,598	119,595		448,836	286,991		165,227
<p>1. 事業の目的                      市民の安全で快適な生活環境を確保し、公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道整備の遅れている既存集落において、地区状況をふまえ区域拡大を図り整備を推進し、農業環境や生活環境を保全するため事業を推進する。</p> <p>2. 事業の概要                      下水道布設 57箇所 16,390m</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      約58.2haの整備が完了する。</p>												

事業名：霞ヶ浦常南流域下水道に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	04	11	本年	90,891	58,509	21,902		171,302	134,731	78.7	36,571
				前年	116,547	32,289	149		148,985	90,476	60.7	58,509
				比較	25,656	26,220	21,753		22,317	44,255		21,938
<p>1. 事業の目的 流域下水道建設に対する受益市町村の建設負担金。</p> <p>2. 事業の概要 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入。</p>												

事業名：小貝川東部流域下水道に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	04	12	本年	26,240	17,473	72		43,641	24,659	56.5	18,982
				前年	28,914	10,493	2,157		37,250	19,777	53.1	17,473
				比較	2,674	6,980	2,085		6,391	4,882		1,509
<p>1. 事業の目的 流域下水道建設に対する受益市町村の建設負担金。</p> <p>2. 事業の概要 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 流域下水道建設事業に伴う負担金の納入。</p>												

事業名：つくばエクスプレス関連公共下水道に要する経費

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	05	11	本年	2,436,600	2,096,230	108,200	15,873	4,656,903	2,891,620	62.1	1,765,265
				前年	3,760,500	996,700	689,900		4,067,300	1,970,515	48.4	2,096,230
				比較	1,323,900	1,099,530	798,100	15,873	589,603	921,105		330,965
<p>1. 事業の目的 市民の安全で快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質汚濁防止と普及率の向上を目指し、つくばエクスプレス関連地区の事業を推進する。</p> <p>2. 事業の概要 葛城及び萱丸地区に関連する、公共下水道施設設置事業の都市再生機構との費用負担契約。 中根金田台地区に関連する公共下水道施設設置事業の都市再生機構との委託契約。 島名福田坪及び上河原崎中西地区に関連する公共下水道施設設置事業の茨城県との委託契約。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 つくばエクスプレス沿線開発区画整理事業の進捗に合わせた、計画的及び効率的な事業の施行。 平成20年度末整備面積: 593.1ha</p>												

## 事業名：地方債償還元金

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	11	本年	1,983,955		1,212,474		3,196,429	3,196,319	100.0	
				前年	1,818,504		323,389		2,141,893	2,141,891	100.0	
				比較	165,451		889,085		1,054,536	1,054,428		

## 1. 事業の目的

下水道施設整備に充てるために借り入れた、建設地方債などの元金を返済するための経費である。

## 2. 事業の概要

平成20年度中に償還した元金の総額は、借換債を財源として、公的資金補償金免除繰上償還1,196,116千円を実施した等により、前年度に比べ1,054,428千円ほど増加した。また、平成20年度末の地方債残高は、49,582,488千円である。  
(参考 平成19年度末地方債残高48,561,307千円)

## 3. 事業の成果及び効果

借入契約に従い、平成20年度の所要額を全額返済した。

## 事業名：地方債償還利子

上下水道部 下水道整備課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	02	11	本年	1,540,419		34,850		1,505,569	1,445,988	96.0	
				前年	1,557,348				1,557,348	1,524,430	97.9	
				比較	16,929		34,850		51,779	78,442		

## 1. 事業の目的

下水道施設整備に充てるために借り入れた、建設地方債などの利子を支払うための費用である。

## 2. 事業の概要

平成20年度中に償還した利子の総額は、前年度に比べ78,442千円ほど、減少した。

## 3. 事業の成果及び効果

借入契約に従い、平成20年度の所要額を全額支出した。

## 事業名：予備費

上下水道部 下水道管理課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	11	本年	10,000			2,644	7,356	0	0.0	
				前年	10,000				10,000	0	0.0	
				比較				2,644	2,644			

## 1. 事業の目的

緊急の支出に充用するための経費

## 2. 事業の概要

需用費(光熱水費・電気料)に充用した。

## 3. 事業の成果及び効果

充用先の予算を円滑に執行した。

## 地方債元利償還状況

(単位:千円)

区 分	19年度末 現在高	20年度 発行額	20年度償還額		20年度末 現在高
			元 金	利 子	
公共下水道事業債	27,176,916	3,085,445	2,016,345	849,326	28,246,016
上記のうち 資本費平準化債	200,000	0	11,110	3,200	188,890
特定環境保全公共 下水道事業債	17,434,878	906,691	856,539	484,178	17,485,030
上記のうち 資本費平準化債	113,298	0	18,848	1,780	94,450
流域下水道事業債	3,949,513	225,364	323,435	112,484	3,851,442
計	48,561,307	4,217,500	3,196,319	1,445,988	49,582,488

20年度発行額には、前借分を含む。

## 平成20年度老人保健特別会計予算執行の概要について

国民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため、疾病の予防、治療、機能訓練の保健事業等を総合的に実施し、国民保健の向上と老人福祉の増進を図ることを目的として、また、国民は、自助と連帯の精神に基づき、自ら加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに、老人の医療に要する費用を公平に負担すること、並びに年齢、心身の状況等に応じ、職域又は地域において老後における健康の保持を図るため、適切な保健サービスを受ける機会を与えられるべきことを基本理念として、昭和58年2月老人保健法が施行されました。

本市の平成20年度老人保健特別会計歳入歳出総額は、1,233,289千円で、前年度と比較して89.4%の減額となりました。

これは、平成20年4月1日より老人保健制度に代わり、後期高齢者医療制度が施行され、予算を大幅に削減したことによります。

決算規模	歳入総額	1,233,289千円
	歳出総額	1,233,289千円
	歳入歳出差引額	0円

以上、平成20年度つくば市老人保健特別会計の概要であります。主要施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款項目節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
01	老人保健	1,278,134		20,646	1,257,488	1,233,289	1,233,289	98.1
01	支払基金交付金	639,672		47,779	591,893	595,870	595,870	100.7
01	支払基金交付金	639,672		47,779	591,893	595,870	595,870	100.7
01	医療費交付金	635,971		47,779	588,192	592,238	592,238	100.7
01	現年度分	本年度 635,970		68,519	567,451	571,497	571,497	100.7
		前年度 6,530,663			6,530,663	6,132,474	6,132,474	93.9
		比較 5,894,693		68,519	5,963,212	5,560,977	5,560,977	
02	過年度分	本年度 1		20,740	20,741	20,741	20,741	100.0
		前年度 1			1			
		比較		20,740	20,740	20,741	20,741	
02	審査支払手数料交	3,701			3,701	3,632	3,632	98.1
01	現年度分	本年度 3,700			3,700	3,632	3,632	98.2
		前年度 51,608			51,608	40,924	40,924	79.3
		比較 47,908			47,908	37,292	37,292	
02	過年度分	本年度 1			1			
		前年度 1			1			
		比較						
02	国庫支出金	423,981		36,277	460,258	432,084	432,084	93.9
01	国庫負担金	423,981		36,277	460,258	432,084	432,084	93.9
01	医療費負担金	423,981		36,277	460,258	432,084	432,084	93.9
01	現年度分	本年度 423,980		102,201	321,779	293,605	293,605	91.2
		前年度 3,769,404			3,769,404	3,433,535	3,433,535	91.1
		比較 3,345,424		102,201	3,447,625	3,139,930	3,139,930	
02	過年度分	本年度 1		138,478	138,479	138,479	138,479	100.0
		前年度 1		33,134	33,135	33,136	33,136	100.0
		比較		105,344	105,344	105,343	105,343	
03	県支出金	105,996		11,814	94,182	94,181	94,181	100.0
01	県負担金	105,996		11,814	94,182	94,181	94,181	100.0
01	医療費負担金	105,996		11,814	94,182	94,181	94,181	100.0
01	現年度分	本年度 105,995		25,551	80,444	80,444	80,444	100.0
		前年度 942,351			942,351	879,266	879,266	93.3
		比較 836,356		25,551	861,907	798,822	798,822	
02	過年度分	本年度 1		13,737	13,738	13,737	13,737	100.0
		前年度 1			1			
		比較		13,737	13,737	13,737	13,737	
04	繰入金	108,480		14,005	94,475	94,475	94,475	100.0
01	一般会計繰入金	108,480		14,005	94,475	94,475	94,475	100.0
01	一般会計繰入金	108,480		14,005	94,475	94,475	94,475	100.0
01	一般会計繰入金	本年度 108,480		14,005	94,475	94,475	94,475	100.0
		前年度 945,771			945,771	995,447	995,447	105.3
		比較 837,291		14,005	851,296	900,972	900,972	
05	繰越金	1		1				
01	繰越金	1		1				
01	繰越金	1		1				
01	繰越金	本年度 1		1				
		前年度 10,000		85,527	95,527	95,527	95,527	100.0
		比較 9,999		85,528	95,527	95,527	95,527	
06	諸収入	4		16,676	16,680	16,679	16,679	100.0
01	延滞金及び加算金	2			2			
01	延滞金	1			1			
01	延滞金	本年度 1			1			
		前年度 1			1			
		比較						
02	加算金	1			1			
01	加算金	本年度 1			1			
		前年度 1			1			
		比較						
02	雑入	2		16,676	16,678	16,679	16,679	100.0
01	第三者納付金	1		16,676	16,677	16,678	16,678	100.0
01	第三者納付金	本年度 1		16,676	16,677	16,678	16,678	100.0
		前年度 17,607			17,607	14,864	14,864	84.4
		比較 17,606		16,676	930	1,814	1,814	
02	返納金	1			1	1	1	100.0
01	返納金	本年度 1			1		1	100.0
		前年度 1			1	2,961	2,961	296100.0
		比較				2,960	2,960	

事業名：医療給付に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	1,252,953		193,600	24,555	1,034,798	1,021,319	98.7	
				前年	12,031,845				12,031,845	11,419,341	94.9	
				比較	10,778,892		193,600	24,555	10,997,047	10,397,022		
<p>1. 事業の目的 老人保健受給者に医療の給付を行う。</p> <p>2. 事業の概要 社会保険診療報酬支払基金、国、県及び市からの負担金等を財源として、老人医療費の給付を行った。 老人保健受給者数： 15,111人</p> <p>3. 事業の成果及び効果 老人保健受給者の疾病や負傷等の診療に対し、医療機関を通し現物で給付した。 老人保健受給件数： 33,216件 老人保健医療給付額： 1,021,318,720円</p>												

事業名：医療費支給に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	02	11	本年	18,988			24,555	43,543	43,543	100.0	
				前年	152,925				152,925	143,712	94.0	
				比較	133,937			24,555	109,382	100,169		
<p>1. 事業の目的 老人保健受給者に医療費の給付を行う。</p> <p>2. 事業の概要 老人保健受給者数： 15,111人</p> <p>3. 事業の成果及び効果 医療の給付で果たせなかった役割を補完するものとして、一定の支給要件を備えた場合に限り現金で給付し、老人保健受給者の負担の軽減を図った。 老人保健受給件数： 5,996件 老人保健医療費給付額： 43,542,838円</p>												

事業名：審査支払に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	03	11	本年	3,700				3,700	3,577	96.7	
				前年	51,608				51,608	41,346	80.1	
				比較	47,908				47,908	37,769		
<p>1. 事業の目的 社会保険診療報酬支払基金及び茨城県国保団体連合会へ、老人保健受給者の診療報酬明細書の審査・支払手数料を支払う。</p> <p>2. 事業の概要 医療機関からの診療報酬明細書は、支払基金及び国保連合会が内容及び件数を審査に対し、保険者へ送致する。保険者は審査支払手数料として支払基金及び国保連合会へ手数料を支払う。 診療報酬明細書審査件数： 33,216件 診療報酬審査支払手数料： 3,577,395円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 老人保健受給者の診療報酬の支払い事務が円滑に進んだ。</p>												

## 事業名：償還金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	11	本年	1		357		358	356	99.4	
				前年	1		23,683		23,684	23,682	100.0	
				比較			23,326		23,326	23,326		
<p>1. 事業の目的 老人保健受給者の医療費に充てる医療費交付金及び医療費負担金に返還する事由が生じた場合、償還する。</p> <p>2. 事業の概要 老人医療給付費等負担金は、概算で交付され翌年度精算する。超過交付となった場合は償還金として返還する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成19年度交付金について、356,466円の超過交付となったため、平成20年度の償還金として支出した。</p>												

## 事業名：還付金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	02	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	670				670	54	8.1	
				比較	669				669	54		
<p>1. 事業の目的 過誤による超過徴収金が生じた場合還付する。</p> <p>2. 事業の概要 所得により、1割又は3割の自己負担が定められた改正老人保健法が、平成18年10月から施行されたことに伴い、受給割合を示す受給者証を提示しないときは医療機関の窓口で3割負担となり、後日負担割合に過誤が生じた場合、保険者から還付金として還付する。 平成20年度は還付無 老人保健第三者行為損害賠償還付金： 0円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 老人保健法に則り、適正に処理した。</p>												

## 事業名：一般会計繰出金

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	02	01	11	本年	1		172,597		172,598	164,494	95.3	
				前年	1		94,978		94,979	0	0.0	
				比較			77,619		77,619	164,494		
<p>1. 事業の目的 老人医療給付費の実績精算の結果、超過分が生じた場合、一般会計へ繰り出す。</p> <p>2. 事業の概要 前年度の一般会計からの繰入金について、実績精算の結果、超過となった場合、一般会計へ繰出金として繰り出す。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 国庫支出金等の歳入減(8,104,295円)により、歳出調整を行う。</p>												

## 事業名：予備費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	2,490				2,490	0	0.0	
				前年	30,361				30,361	0	0.0	
				比較	27,871				27,871			
<p>1. 事業の目的 老人医療給付費等の予測しがたい支出の増加に備える。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 予備費については、後期高齢者医療制度への移行に伴い、平成20年度予算に合わせて計上した。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 予備費からの、充用はなかった。</p>												

## 平成20年度後期高齢者医療特別会計予算執行の概要について

後期高齢者医療制度は、医療費の適正化を主な目的として平成18年6月21日に医療制度改革法が国会で可決成立し、平成20年4月1日より施行された、他の健康保険等から独立した新しい医療保健制度です。

老人医療費が増大するなか、現役世代と高齢者世代の負担と給付を明確化し、75歳以上の後期高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえ、高齢化社会に対応する公平で分かりやすい制度として創設されたものです。

これまでの老人保健制度は市町村が主体でしたが、高齢化の進展で老人医療費が増大するなか、保険財政の安定化を図る側面から広域化を進める必要があったことから、都道府県を単位とした広域的な組織で運営することとされ、茨城県では44市町村が加入する「茨城県後期高齢者医療広域連合」が平成19年度に設立され、後期高齢者医療制度の運営を担うことになりました。

広域連合は、保険料の決定や財政運営、医療を受けたときの給付など後期高齢者医療制度の運営主体となります。市町村は後期高齢者医療制度の事務のうち、被保険者からの申請や届出の受付、被保険者証の引渡し、保険料徴収などの窓口業務を行います。

本市の平成20年度後期高齢者医療特別会計歳入総額は、1,058,496千円で歳出総額は、1,028,699千円となり、差引額29,797千円は平成21年度後期高齢者医療特別会計へ繰出いたします。

決算規模	歳入総額	1,058,496千円
	歳出総額	1,028,699千円
	歳入歳出差引額	29,797千円

以上、平成20年度つくば市後期高齢者医療特別会計の概要であります。主要施策の成果及び予算執行の実績の主なものは次のとおりです。

平成20年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
01			後期高齢者医療	1,164,454		121,939	1,042,515	1,067,584	1,058,496	101.5		
			後期高齢者医療保	968,721		168,366	800,355	824,698	815,610	101.9		
			後期高齢者医療保	968,721		168,366	800,355	824,698	815,610	101.9		
			特別徴収保険料	779,655		339,460	440,195	472,161	477,329	108.4		
			01	01	現年度分特別徴収	779,655		339,460	440,195	472,161	477,329	108.4
					保険料	779,655		339,460	440,195	472,161	477,329	108.4
			02	01	普通徴収保険料	189,066		171,094	360,160	352,537	338,281	93.9
					現年度分普通徴収	189,066		171,094	360,160	352,537	338,281	93.9
					保険料	189,066		171,094	360,160	352,537	338,281	93.9
					比較	189,066		171,094	360,160	352,537	338,281	93.9
02			使用料及び手数料	74			74	372	372	502.7		
			01	手数料	74			74	372	372	502.7	
			01	督促手数料	74			74	372	372	502.7	
				督促手数料	74			74	372	372	502.7	
			比較	74			74	372	372	502.7		
03			繰入金	195,657		46,133	241,790	241,789	241,789	100.0		
			01	他会計繰入金	195,657		46,133	241,790	241,789	241,789	100.0	
			01	一般会計繰入金	195,657		46,133	241,790	241,789	241,789	100.0	
				一般会計繰入金	62,167		898	61,269	61,269	61,269	100.0	
			比較	62,167		898	61,269	61,269	61,269	100.0		
			02	保険基盤安定繰入	133,490		47,031	180,521	180,520	180,520	100.0	
比較	133,490		47,031	180,521	180,520	180,520	100.0					
04			諸収入	2			2	431	431	21550.0		
			01	延滞金,加算金及	1			1	431	431	43100.0	
			01	延滞金,加算金及	1			1	431	431	43100.0	
				延滞金	1			1	431	431	43100.0	
			比較	1			1	431	431	43100.0		
			02	雑入	1			1				
				雑入	1			1				
			比較	1			1					
05			国庫支出金			294	294	294	294	100.0		
			01	国庫補助金			294	294	294	294	100.0	
			01	国庫補助金			294	294	294	294	100.0	
				高齢者医療制度円			294	294	294	294	100.0	
滑運営事業費補助			294	294	294	294	100.0					
比較			294	294	294	294	294	100.0				

事業名：後期高齢者医療事務に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
01	01	01	11	本年	18,135		2,874		15,261	13,885	91.0		
				前年									
				比較	18,135		2,874		15,261	13,885			
<p>1. 事業の目的 後期高齢者医療制度受給者に医療費の給付のための事務を行う。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 茨城県後期高齢者医療広域連合が運営主体で、保険料の決定や医療費の給付などを行う。市町村はその申請などの届出窓口になり、保険証の引渡しや保険料の徴収を行う。 後期高齢者医療制度受給者数： 15,111人</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 後期高齢者医療制度受給者に対して、茨城県後期高齢者医療広域連合と連絡を密にし、医療費の給付事務を円滑に行うことができた。</p>													

事業名：後期高齢者医療広域連合納付金事務に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	01	01	11	本年	1,102,212		121,335		980,877	974,364	99.3		
				前年									
				比較	1,102,212		121,335		980,877	974,364			
<p>1. 事業の目的 後期高齢者医療制度受給者に医療費の給付を行ため、保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合に対して各種負担金の納付を行う。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 後期高齢者医療保険料は、茨城県後期高齢者医療広域連合において保険料額を決定し、市町村において納付書の発送から保険料の徴収まで行うこととなります。当該保険料を市町村から茨城県後期高齢者医療広域連合へ負担金として支払います。 ・後期高齢者医療保険料負担金 793,682,730円 ・保険基盤安定負担金 180,519,577円</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 茨城県後期高齢者医療広域連合に対して、負担金の納付事務を円滑に行った。</p>													

事業名：保険料返還に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	01	11	本年	1				1		0.0		
				前年									
				比較	1				1				
<p>1. 事業の目的 後期高齢者医療制度受給者に医療費の給付を行う。</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 後期高齢者医療保険料の誤納付による返還を行う。</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度については、事業開始年度であり、保険料の返還については、歳入より還付を行った。</p>													

事業名：還付加算金に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	02	11	本年	1				1	0	0.0		
				前年									
				比較	1				1				
<p>1. 事業の目的 後期高齢者医療制度受給者に医療費の給付を行う。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 後期高齢者医療制度受給者の受給割合、損害賠償金及び不正利得徴収金等などに過誤が生じた場合 還付する。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度については、事業開始年度であり、還付加算金について該当がなかった。</p>													

事業名：予備費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	11	本年	5,000				5,000	0	0.0	
				前年								
				比較	5,000				5,000			
<p>1. 事業の目的 後期高齢者医療制度給付費の予測しがたい支出の増加に備える。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 後期高齢者医療制度給付費の予測しがたい支出の増加に備える。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 予備費からの充用はなかった。</p>												

## 主要な施策の成果その他予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、平成20年度つくば市作岡財産区特別会計における主要な施策の成果その他予算執行の実績について報告いたします。

平成21年9月1日

つくば市長 市原 健一

## 平成20年度つくば市作岡財産区特別会計予算執行の概要について

平成20年度決算につきましては、歳入総額107千円、歳出総額59千円であり、歳入歳出差引額は、48千円となりました。

主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				作岡財産区	150		49	101	107	107	105.9
01				財産収入	9			9	9	9	100.0
	01			財産運用収入	9			9	9	9	100.0
		01		利子及び配当金	9			9	9	9	100.0
			01	利子及び配当金	9			9	9	9	100.0
				本年度	9			9	9	9	100.0
				前年度	5			5	8	8	160.0
				比較	4			4	1	1	
02				繰越金	91			91	98	98	107.7
	01			繰越金	91			91	98	98	107.7
		01		繰越金	91			91	98	98	107.7
			01	繰越金	91			91	98	98	107.7
				本年度	91			91	98	98	107.7
				前年度	142			142	142	142	100.0
				比較	51			51	44	44	
03				諸収入	1			1			
	01			雑入	1			1			
		01		雑入	1			1			
			01	雑入	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
04				繰入金	49		49				
	01			基金繰入金	49		49				
		01		基金繰入金	49		49				
			01	基金繰入金	49		49				
				本年度	49		49				
				前年度							
				比較	49		49				

事業名：財産区管理に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	123		49		74	50	67.6	
				前年	123				123	43	35.0	
				比較			49		49	7		
<p>1. 事業の目的 作岡財産区の管理及び運営</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 財産区管理会を1回開催し、委員7名の出席を得て予算・決算の審議を行った。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 土地については、19,898㎡のうち19,816㎡をつくば市へ無償貸付(作岡保育所及び作岡地区多目的広場用地)を行っている。</p>												

事業名：作岡財産区基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	11	本年	9				9	9	100.0	
				前年	5			4	9	9	100.0	
				比較	4			4				
<p>1. 事業の目的 地方自治法第294条に基づき作岡地区の財産を管理するために設けられた特別会計において、同会計が管理する基金への積立金である。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 預金利子9千円の積立を行った。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果 平成20年度末基金残高は3,254千円となった。</p>												

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	18				18	0	0.0	
				前年	20			4	16	0	0.0	
				比較	2			4	2			
<p>1. 事業の目的 当初予測していない予算外の支出が生じた時や、歳出予算計上額が不足したときに充用される経費である。</p> <p>-----</p> <p>2. 事業の概要 執行しなかった。</p> <p>-----</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

## 主要な施策の成果その他予算執行の実績について

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、平成20年度つくば市等公平委員会特別会計における主要な施策の成果その他予算執行の実績について報告いたします。

平成21年9月1日

つくば市長 市原 健一

## 平成20年度つくば市等公平委員会特別会計予算執行の概要について

平成20年度決算につきましては、歳入総額982千円、歳出総額811千円であり、歳入歳出差引額は、171千円となりました。

主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
				公平委員会	1,016			1,016	982	982	96.7
01				分担金及び負担金	796			796	796	796	100.0
	01			負担金	796			796	796	796	100.0
		01		総務費負担金	796			796	796	796	100.0
			01	総務管理費負担金	796			796	796	796	100.0
				本年度	796			796	796	796	100.0
				前年度	807			807	808	808	100.1
				比較	11			11	12	12	
02				財産収入	9			9	8	8	88.9
	01			財産運用収入	9			9	8	8	88.9
		01		利子及び配当金	9			9	8	8	88.9
			01	利子及び配当金	9			9	8	8	88.9
				本年度	9			9	8	8	88.9
				前年度	5			5	8	8	160.0
				比較	4			4			
03				繰入金	96			96			
	01			基金繰入金	96			96			
		01		公平委員会基金繰	96			96			
			01	公平委員会基金繰	96			96			
				本年度	96			96			
				前年度	96			96			
				比較							
04				繰越金	114			114	177	177	155.3
	01			繰越金	114			114	177	177	155.3
		01		繰越金	114			114	177	177	155.3
			01	前年度繰越金	114			114	177	177	155.3
				本年度	114			114	177	177	155.3
				前年度	100			100	184	184	184.0
				比較	14			14	7	7	
05				諸収入	1			1	1	1	100.0
	01			預金利子	1			1	1	1	100.0
		01		預金利子	1			1	1	1	100.0
			01	預金利子	1			1	1	1	100.0
				本年度	1			1	1	1	100.0
				前年度	1			1	1	1	100.0
				比較							

事業名：公平委員会に要する経費

総務部 法務室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	981				981	811	82.7	
				前年	974				974	823	84.5	
				比較	7				7	12		
<p>1. 事業の目的 職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査し、判定し、及び必要な措置を執ることなど、地方公務員法第8条第2項各号に掲げる事務を処理すること。</p> <p>2. 事業の概要 委員数 3名 会議の開催 2回 研究会等への出席 8回 苦情相談等 0件</p> <p>3. 事業の成果及び効果 付議案件 3件</p>												

事業名：予備費

総務部 法務室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	11	本年	35				35	0	0.0	
				前年	35				35	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 予想し難い支出の増加に備えるため。</p> <p>2. 事業の概要 平成20年度は充用しない。</p> <p>3. 事業の成果及び効果</p>												

## 平成20年度つくば市介護保険事業特別会計予算執行の概要について

介護保険制度施行9年目を迎えた平成20年度は、「つくば市介護保険事業計画」に基づき、各種の施策を展開し、介護保険制度にかかわる情報を市民にわかりやすく提供し、社会全体で支え合う制度の普及、定着を図ってまいりました。さらに、在宅サービスの利用促進とサービス提供体制の整備を図るとともに、介護保険施設の整備促進にも取り組んでまいりました。

### 低所得者負担対策として給付サービス利用料について

低所得者の利用者負担は、障害者訪問介護利用者負担の軽減や社会福祉法人による利用者負担の軽減措置がとられております。

### 保険料の減免について

第1号被保険者である65歳以上の方の保険料は、個人の所得に応じた7段階の算定で、所得の低い方に配慮した設定となっており、さらに、つくば市介護保険条例第11条により災害等を受けた方に対し保険料の減免を実施しています。

このような状況の中で運営された平成20年度介護保険事業特別会計決算状況は、収入総額8,106,586千円と決算されました。

歳出総額は、7,935,906千円と決算され、歳入歳出差引額は、170,680千円となりました。

以上、平成20年度つくば市介護保険事業特別会計の概要であります。主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
			介護	8,060,564		154,500	8,215,064	8,189,631	8,106,586	98.7	
01			保険料	1,458,455			1,458,455	1,566,883	1,501,066	102.9	
	01		介護保険料	1,458,455			1,458,455	1,566,883	1,501,066	102.9	
		01	第1号被保険者保	1,458,455			1,458,455	1,566,883	1,501,066	102.9	
		01	現年度分特別徴収 保険料	本年度 1,244,776 前年度 1,201,724 比較 43,052			1,244,776 1,201,724 43,052	1,316,589 1,277,503 39,086	1,319,794 1,282,074 37,720	106.0 106.7	
		02	現年度分普通徴収 保険料	本年度 208,648 前年度 190,861 比較 17,787			208,648 190,861 17,787	198,491 169,110 29,381	173,283 146,032 27,251	83.1 76.5	
		03	滞納繰越分普通徴収 保険料	本年度 5,031 前年度 4,472 比較 559			5,031 4,472 559	51,803 42,922 8,881	7,989 7,834 155	158.8 175.2	
02			使用料及び手数料	288			288	350	350	121.5	
	01		手数料	288			288	350	350	121.5	
		01	督促手数料	288			288	350	350	121.5	
		01	督促手数料	本年度 288 前年度 288 比較			288 288	350 302 48	350 302 48	121.5 104.9	
03			国庫支出金	1,813,708		32,210	1,845,918	1,782,009	1,782,009	96.5	
	01		国庫負担金	1,432,543		35,800	1,396,743	1,372,011	1,372,011	98.2	
		01	介護給付費負担金	1,365,811		30,420	1,335,391	1,304,719	1,304,719	97.7	
		01	現年度分	本年度 1,365,811 前年度 1,310,374 比較 55,437		30,420 41,253 10,833	1,335,391 1,269,121 66,270	1,304,719 1,223,438 81,281	1,304,719 1,223,438 81,281	97.7 96.4	
		02	地域支援事業交付	13,388		4,209	9,179	13,947	13,947	151.9	
		01	現年度分	本年度 13,388 前年度 3,703 比較 9,685		4,209 1,113 3,096	9,179 2,590 6,589	13,947 3,704 10,243	13,947 3,704 10,243	151.9 143.0	
		03	地域支援事業交付	53,344		1,171	52,173	53,345	53,345	102.2	
		01	現年度分	本年度 53,344 前年度 44,279 比較 9,065		1,171 88 1,083	52,173 44,191 7,982	53,345 47,535 5,810	53,345 47,535 5,810	102.2 107.6	
	02		国庫補助金	381,165		68,010	449,175	409,998	409,998	91.3	
		01	調整交付金	381,165		9,480	371,685	333,115	333,115	89.6	
		01	現年度分調整交付 金	本年度 381,165 前年度 365,000 比較 16,165		9,480 12,500 3,020	371,685 352,500 19,185	333,115 327,643 5,472	333,115 327,643 5,472	89.6 92.9	
		02	介護保険事業費補			905	905	299	299	33.0	
		01	介護保険事業費補 助金	本年度 前年度 比較		905 1,228 1,228	905 183 722	905 1,411 506	299 1,411 1,112	299 1,411 1,112	33.0 100.0
		03	介護従事者処遇改			76,585	76,585	76,584	76,584	100.0	
		01	介護従事者処遇改 善臨時特例交付金	本年度 前年度 比較		76,585 76,585 76,585	76,585 76,585 76,584	76,584 76,584 76,584	76,584 76,584 76,584	100.0 100.0	
04			支払基金交付金	2,379,826		63,995	2,315,831	2,231,300	2,227,494	96.2	
	01		支払基金交付金	2,379,826		63,995	2,315,831	2,231,300	2,227,494	96.2	
		01	介護給付費交付金	2,363,225		58,776	2,304,449	2,208,453	2,208,453	95.8	
		01	現年度分	本年度 2,363,225 前年度 2,263,000 比較 100,225		58,776 77,500 18,724	2,304,449 2,185,500 118,949	2,208,453 2,100,939 107,514	2,208,453 2,100,939 107,514	95.8 96.1	
		02	地域支援事業支援	16,601		5,219	11,382	22,847	19,041	167.3	
		01	現年度分	本年度 16,601 前年度 4,592 比較 12,009		5,219 1,381 3,838	11,382 3,211 8,171	22,847 15,829 7,018	19,041 15,829 3,212	167.3 493.0	
05			県支出金	1,145,129		33,891	1,111,238	1,085,853	1,085,853	97.7	
	01		県負担金	1,111,763		31,200	1,080,563	1,052,207	1,052,207	97.4	
		01	介護給付費負担金	1,111,763		31,200	1,080,563	1,052,207	1,052,207	97.4	
		01	現年度分	本年度 1,111,763 前年度 1,062,124 比較 49,639		31,200 39,997 8,797	1,080,563 1,022,127 58,436	1,052,207 988,290 63,917	1,052,207 988,290 63,917	97.4 96.7	
		02	県補助金	33,366		2,691	30,675	33,646	33,646	109.7	
		01	地域支援事業交付	6,694		2,105	4,589	6,974	6,974	152.0	
		01	現年度分	本年度 6,694 前年度 1,851 比較 4,843		2,105 557 1,548	4,589 1,294 3,295	6,974 1,852 5,122	6,974 1,852 5,122	152.0 143.1	

## 平成20年度歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
05	02	02		地域支援事業交付	26,672		586	26,086	26,672	26,672	102.2
		01		現年度分	26,672		586	26,086	26,672	26,672	102.2
				前年度	22,139		44	22,095	23,767	23,767	107.6
				比較	4,533		542	3,991	2,905	2,905	
06				財産収入	500		1,390	1,890	1,890	1,890	100.0
	01			財産運用収入	500		1,390	1,890	1,890	1,890	100.0
		01		利子及び配当金	500		1,390	1,890	1,890	1,890	100.0
				利子及び配当金	500		1,390	1,890	1,890	1,890	100.0
				本年度	500		1,390	1,890	1,890	1,890	100.0
				前年度	156		1,063	1,219	1,219	1,219	100.0
				比較	344		327	671	671	671	
07				繰入金	1,249,346		42,953	1,206,393	1,206,393	1,206,393	100.0
	01			一般会計繰入金	1,221,440		15,047	1,206,393	1,206,393	1,206,393	100.0
		01		介護給付費繰入金	952,913		23,700	929,213	929,213	929,213	100.0
				現年度分	952,913		23,700	929,213	929,213	929,213	100.0
				本年度	952,913		23,700	929,213	929,213	929,213	100.0
				前年度	912,500		31,250	881,250	881,250	881,250	100.0
				比較	40,413		7,550	47,963	47,963	47,963	
		02		その他一般会計繰	235,161		11,024	246,185	246,185	246,185	100.0
				職員給与費等繰入	119,630		8,970	128,600	128,600	128,600	100.0
				本年度	119,630		8,970	128,600	128,600	128,600	100.0
				前年度	117,019		1,365	115,654	115,654	115,654	100.0
				比較	2,611		10,335	12,946	12,946	12,946	
		02		事務費繰入金	107,443		2,034	109,477	109,477	109,477	100.0
				本年度	107,443		2,034	109,477	109,477	109,477	100.0
				前年度	108,759		3,000	105,759	105,759	105,759	100.0
				比較	1,316		5,034	3,718	3,718	3,718	
		×		地域支援事業職員							
				関係経費繰入金							
				本年度	19,967		507	19,460	19,460	19,460	100.0
				前年度	19,967		507	19,460	19,460	19,460	100.0
				比較							
		03		新予防給付職員関	8,088		20	8,108	8,108	8,108	100.0
				係経費繰入金	8,088		20	8,108	8,108	8,108	100.0
				本年度	8,088		20	8,108	8,108	8,108	100.0
				前年度	8,784		30	8,754	8,754	8,754	100.0
				比較	696		50	646	646	646	
		03		地域支援事業繰入	6,694		2,105	4,589	4,589	4,589	100.0
				現年度分	6,694		2,105	4,589	4,589	4,589	100.0
				本年度	6,694		2,105	4,589	4,589	4,589	100.0
				前年度	1,851		557	1,294	1,294	1,294	100.0
				比較	4,843		1,548	3,295	3,295	3,295	
		04		地域支援事業繰入	26,672		266	26,406	26,406	26,406	100.0
				現年度分	26,672		266	26,406	26,406	26,406	100.0
				本年度	26,672		266	26,406	26,406	26,406	100.0
				前年度	22,139		695	22,834	22,834	22,834	100.0
				比較	4,533		961	3,572	3,572	3,572	
		02		基金繰入金	27,906		27,906				
				介護給付費準備基	27,906		27,906				
				介護給付費準備基	27,906		27,906				
				基金繰入金	27,906		27,906				
				本年度	27,906		27,906				
				前年度	15,394		15,394				
				比較	12,512		12,512				
08				繰越金	1		261,739	261,740	261,739	261,739	100.0
	01			繰越金	1		261,739	261,740	261,739	261,739	100.0
		01		繰越金	1		261,739	261,740	261,739	261,739	100.0
				繰越金	1		261,739	261,740	261,739	261,739	100.0
				本年度	1		261,739	261,740	261,739	261,739	100.0
				前年度	1	1,228	477,358	478,587	478,586	478,586	100.0
				比較		1,228	215,619	216,847	216,847	216,847	
09				諸収入	201			201	39,296	25,874	12872.6
	01			雑入	200			200	38,478	25,056	12528.0
		01		第三者納付金	1			1	1,754	1,754	175400.0
				第三者納付金	1			1	1,754	1,754	175400.0
				本年度	1			1	1,754	1,754	175400.0
				前年度	1			1	1,896	1,896	189600.0
				比較					142	142	
		02		雑入	198			198	36,724	23,302	11768.7
				雑入	198			198	36,724	23,302	11768.7
				本年度	198			198	36,724	23,302	11768.7
				前年度	183			183	64,929	51,511	28148.1
				比較	15			15	28,205	28,209	
		03		成年後見申立費用	1			1			
				成年後見申立費用	1			1			
				納付金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
		02		延滞金,加算金及	1			1	818	818	81800.0
				第1号被保険者延	1			1	818	818	81800.0
				滞金	1			1	818	818	81800.0
				本年度	1			1	818	818	81800.0
				前年度	1			1	792	792	79200.0
				比較					26	26	

平成20年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
10				介護サービス収入	13,110			13,110	13,918	13,918	106.2
	01			新予防給付費収入	13,110			13,110	13,918	13,918	106.2
		01		新予防給付ケアマ	13,110			13,110	13,918	13,918	106.2
			01	現年度分	本年度	13,110		13,110	13,918	13,918	106.2
					前年度	11,545		11,545	9,478	9,478	82.1
					比較	1,565		1,565	4,440	4,440	

事業名：介護保険事務に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	3,212		1,590		4,802	2,506	52.2	
				前年	3,116	2,456	874		6,446	2,432	37.7	
				比較	96	2,456	716		1,644	74		
<p>1. 事業の目的 介護保険事務を円滑に執り行うための経費</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 旅費:介護保険関係部課長会議等 需用費:居宅サービス計画作成依頼(変更)届出書等給付様式各種印刷代 役務費:介護給付費等通知郵便代</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 概ねほぼ達成できた。</p>												

事業名：資格管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	12	本年	2,264				2,264	772	34.1	
				前年	2,058				2,058	990	48.1	
				比較	206				206	218		
<p>1. 事業の目的 介護保険被保険者の資格管理に係わる事務</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 ・被保険者の資格取得に伴い被保険者証を発行する。 ・住所地特例被保険者について、各市町村、事業所と連絡を密にし適正管理を行う。</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 住所地特例連絡票 (443件) 転入・65歳到達者被保険者証交付 (2,430名) 再交付等被保険者証交付 (196名) 被保険者証の要介護認定交付 (5,202名)</p>												

事業名：賦課徴収に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	02	01	11	本年	14,494				14,494	11,944	82.4	
				前年	14,771		813		15,584	11,555	74.1	
				比較	277		813		1,090	389		
<p>1. 事業の目的 介護保険第1号被保険者の賦課徴収に係わる事務</p> <hr/> <p>2. 事業の概要 介護保険料の賦課を適正に行うために資格、所得等をシステム管理し、保険料決定通知・納付書の発行。 介護保険料の徴収率向上のため、口座振替の推進等収納管理。 介護保険料滞納者に対し訪問徴収を行う。(嘱託徴収員2名)</p> <hr/> <p>3. 事業の成果及び効果 口座振替依頼者の増加 口座振替依頼件数 3,736件 滞納整理 延べ件数 訪問日数 225日 従事職員数 307人</p>												

訪問件数 2,618件  
 収納額 5,902,000円

事業名：介護認定審査会に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	03	01	11	本年	57,835		221		58,056	49,648	85.5	
				前年	60,198		1,240		58,958	52,256	88.6	
				比較	2,363		1,461		902	2,608		
<p>1. 事業の目的          介護保険におけるサービス利用のための要介護認定を行うため、認定申請受付、認定審査会開催に関する事務を行う。</p> <p>2. 事業の概要          要介護認定申請に基づき、審査会8合議体(1合議体委員5名)により、1回あたり25件~40件の審査を行う。審査会資料は、開催1週間前に各委員に事前配布する。</p> <p>○審査会の実施          委員40名 報酬 1回当たり20,000円          費用弁償 1回当たり2,000円</p> <p>○審査会資料に必要な主治医意見書の作成依頼及び作成手数料の支払い          作成料 23,059千円</p> <p>3. 事業の成果及び効果          認定申請受付件数 5,282件(うち新規1,295件 更新3,718件 区分変更269件)          審査会開催回数 175回          審査会処理件数 5,223件</p>												

事業名：認定調査等に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	03	02	11	本年	32,850		1,128		33,978	31,367	92.3	
				前年	30,944		1,945		28,999	27,258	94.0	
				比較	1,906		3,073		4,979	4,109		
<p>1. 事業の目的          要介護認定・要支援認定の申請後、市職員又は市で委託した指定居宅介護支援事業所等が公平な立場で被保険者の日常生活動作や問題行動の状況等、認定に必要な事項を的確に調査する。</p> <p>2. 事業の概要          臨時の訪問調査員の雇用を行う。          指定居宅介護支援事業所、介護保険施設との訪問調査委託契約を行う。          認定申請に基づき、訪問調査を市職員又は指定居宅介護支援事業所等に割り振る。          訪問調査終了後、提出された調査票を点検し、修正する。          調査票を機器に入力し、一次判定を行う。          訪問調査員の研修を行い、資質向上を図る。</p> <p>3. 事業の成果及び効果          ○認定調査件数 5,165件          (うち市職員調査3,329件 64.5% 委託調査1,836件 35.5%)          調査員の県主催新規・現任研修・研修に参加し、又点検、修正を行うことにより、対象者の公平且つ、正確な調査を実施できた。</p>												

事業名：居宅介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	11	本年	2,980,000				2,980,000	2,886,216	96.9	
				前年	2,913,000		28,100		2,941,100	2,808,839	95.5	
				比較	67,000		28,100		38,900	77,377		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、指定居宅サービス事業者から指定居宅サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 都道府県知事の指定を受けた指定居宅サービス事業者から、訪問介護等の指定居宅サービスを要介護被保険者が受けた場合に行われる保険給付費</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：特例居宅介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、特例的に居宅サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 特例居宅介護サービス給付費 以下4つの場合に行われる保険給付で「償還払い」の方式で給付する。 要介護認定の申請前に緊急その他やむを得ない理由により、指定居宅サービスを受けた場合 基準該当居宅サービスを受けた場合 離島等で相当サービスを受けた場合 その他法令で定める場合</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：施設介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	11	本年	2,850,000		150,000		2,700,000	2,601,813	96.4	
				前年	2,750,000		183,921		2,566,079	2,497,233	97.3	
				比較	100,000		33,921		133,921	104,580		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、指定施設サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 施設介護サービス費 都道府県知事の指定を受けた介護保健施設(介護老人保健施設は許可)から指定施設サービス等を要介護被保険者が受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：特例施設介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	04	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、要介護認定の申請前に、緊急その他やむを得ない理由により、指定施設サービス等を受けた場合に支給する。</p> <p>2. 事業の概要 特例施設介護サービス費 特例居宅サービス給付に要する経費と同様、緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定施設サービス等を受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：居宅介護福祉用具購入に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	05	11	本年	11,000				11,000	8,326	75.7	
				前年	11,000				11,000	8,375	76.1	
				比較						49		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具(「特定福祉用具」)を購入した場合、支給する。</p> <p>2. 事業の概要 居宅介護福祉用具購入費 入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具を購入した場合に行われる保険給付 (「特定福祉用具」)・腰掛便座・特殊尿器・入浴補助用具・簡易浴槽・移動用リフトの吊り具 支給限度額 = 100,000円 期間ごとの限度額「居宅介護福祉用具購入費支給限度基準額」</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：居宅介護住宅改修に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	11	本年	30,000		5,000		25,000	21,861	87.4	
				前年	30,000				30,000	21,622	72.1	
				比較			5,000		5,000	239		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、手すりの取り付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に支給する。</p> <p>2. 事業の概要 手すりの取り付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に行われる保険給付 支給限度額 = 件(200,000円)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	11	本年	320,000				320,000	312,771	97.7	
				前年	350,000				350,000	313,089	89.5	
				比較	30,000				30,000	318		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、都道府県知事の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画(ケアプラン)の作成、事業者との連絡調整等の指定居宅介護支援サービスを受けた場合に支給する。</p> <p>2. 事業の概要 都道府県知事の指定を受けた指定居宅介護支援事業者から居宅サービス計画(ケアプラン)の作成等、指定居宅介護支援サービスを、要介護被保険者が受けた場合に行われる保険給付 他の保険給付は9割給付とされているのに対し、この給付は10割給付であり利用者負担はない。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：特例居宅介護サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 指定居宅介護支援サービス以外の居宅介護支援サービス又はこれに相当するサービス(基準該当介護支援サービス)、又は離島等において相当するサービスを要介護被保険者が受けた場合に給付する。</p> <p>2. 事業の概要 特例居宅サービス給付に要する経費と同様、指定居宅介護支援サービス以外の居宅介護支援サービス又はこれに相当するサービス(基準該当介護支援サービス)、又は離島等において相当するサービスを要介護被保険者が受けた場合について行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	09	11	本年	960,000				960,000	931,314	97.0	
				前年	870,000		100,000		770,000	736,109	95.6	
				比較	90,000		100,000		190,000	195,205		
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から、指定居宅サービスを要介護者が受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：特例地域密着型介護サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	10	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 要介護被保険者が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 特例居宅介護サービス給付に要する経費と同様、つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から行われる保険給付、「償還払い」の方式で給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：高額介護サービスに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	11	本年	94,000				94,000	88,155	93.8	
				前年	75,000		8,000	85	82,915	78,378	94.5	
				比較	19,000		8,000	85	11,085	9,777		
<p>1. 事業の目的 一割の定率利用者負担が著しく高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上まらないう負担軽減を図るために行う。</p> <p>2. 事業の概要 一割の定率利用者負担が著しく高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上まらないう負担軽減を図るために行う保険給付 又所得によって上限が軽減される。 自己負担の上限額(世帯合算) 一般: 37,200円 市町村民税世帯非課税: 24,600円 本人の課税年金収入と所得の合計が80万円以下の市町村民税世帯非課税 老齢年金受給者: 15,000円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：高額介護予防サービスに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	11	本年	700		600		100	21	21.0	
				前年	100		160	85	345	192	55.7	
				比較	600		760	85	245	171		
<p>1. 事業の目的 一割の定率利用者負担が著しく高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上まらないう負担軽減を図るために行う。</p> <p>2. 事業の概要 一割の定率利用者負担が著しく高額となった場合に、当該費用負担の家計に与える影響を考慮し、当該負担が一定額を上まらないう負担軽減を図るために行う保険給付。 又所得によって上限が軽減される。</p>												

自己負担の上減額(世帯合算)

一般: 37,200円

市町村民税世帯非課税: 24,600円

本人の課税年金収入と所得の合計が80万円以下の市町村民税世帯非課税

老齢年金受給者: 15,000円

3. 事業の成果及び効果

申請者が少なかったため目標どおり達成できなかった。

事業名: 特定入所者介護サービス費に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	01	11	本年	180,000				180,000	176,876	98.3	
				前年	150,000		9,000		159,000	154,573	97.2	
				比較	30,000		9,000		21,000	22,303		

1. 事業の目的

居住費・食費の負担が要介護者の入所者にとって過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図る。

2. 事業の概要

施設入所者の食費と居住費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低負担する額)を控除した額を保険給付する。

3. 事業の成果及び効果

目標どおり達成できた。

事業名: 特例特定入所者介護サービス費に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	02	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								

1. 事業の目的

居住費・食費の負担が要介護者の入所者にとって過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図る。指定居宅介護サービス以外の居宅介護支援サービス事業所又はこれに相当するサービス事業所(基準該当介護支援サービス事業所)、又は離島等において相当するサービス事業所から要介護被保険者が食費・居住費のサービスを受けた場合に給付する。

2. 事業の概要

施設入所者の食費と居住費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低負担する額)を控除した額を保険給付する。

3. 事業の成果及び効果

申請がないため未達成である。

事業名：特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	03	11	本年	200				200	39	19.5	
				前年	500				500	42	8.4	
				比較	300				300	3		
<p>1. 事業の目的                      居住費・食費の負担が要支援1及び要支援2の入所者にとって過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図る。</p> <p>2. 事業の概要                      施設入所者の食費と居住費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低負担する額)を控除した額を保険給付する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      申請者が少なかったため目標どおり達成できなかった。</p>												

事業名：特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	03	04	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的                      居住費・食費の負担が要支援1及び要支援2の入所者にとって過重にならないよう、所得に応じた低額の負担限度額を設けることにより、負担軽減を図る。</p> <p>2. 事業の概要                      施設入所者の食費と居住費について、低所得者の自己負担を軽減するため基準費用額(食事の提供等に要する平均的な費用の額を勘案して、厚生労働大臣が定める費用の額)から負担限度額(低所得者が最低負担する額)を控除した額を保険給付する。</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      申請がないため未達成である。</p>												

事業名：介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	01	11	本年	150,000		25,000	280	124,720	123,526	99.0	
				前年	120,000		20,400		99,600	92,783	93.2	
				比較	30,000		4,600	280	25,120	30,743		
<p>1. 事業の目的                      要支援1及び要支援2の方が、指定介護予防居宅サービス事業者から指定介護予防居宅サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要                      介護予防は、要支援1及び要支援2の方(虚弱な者)に対して行う法定の保険給付。介護予防は11種類で、それぞれの給付の内容は介護給付に準じている。ただし介護予防には、施設給付が含まれていない。</p> <p>3. 事業の成果及び効果                      申請者が少なかったため目標どおり達成できなかった。</p>												

事業名：特例介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	02	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、特例的に介護予防サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 特例介護予防サービス給付 特例居宅サービス給付に要する経費と同様、緊急その他やむを得ない理由により、要支援認定の申請前に指定介護予防サービス等を受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	03	11	本年	15,700		10,500		5,200	4,048	77.8	
				前年	2,200		7,041	648	9,889	5,757	58.2	
				比較	13,500		17,541	648	4,689	1,709		
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 つくば市の指定を受けた指定地域密着型サービス事業所から、指定居宅サービスを要支援者が受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請者が少なかつたため目標どおり達成できなかった。</p>												

事業名：特例地域密着型介護予防サービス給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	04	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、指定地域密着型サービス事業者から地域密着型サービスを受けたとき、それらに要する費用について支給する。</p> <p>2. 事業の概要 特例居宅サービス給付に要する経費と同様、緊急その他やむを得ない理由により、要介護認定の申請前に指定地域密着型介護予防サービス等を受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：介護予防福祉用具購入に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	05	11	本年	700		500		1,200	993	82.8	
				前年	300		400		700	692	98.9	
				比較	400		100		500	301		
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、入浴又は排泄の用に供する福祉用具その他厚生労働大臣が定める福祉用具(「特定福祉用具」)を指定事業所から購入した場合に給付する。</p> <p>2. 事業の概要 介護予防福祉用具購入費 特定福祉用具(入浴・排泄等の用に供する福祉用具)を購入した場合 「特殊福祉用具」腰掛便座・特殊尿器・入浴補助用具・簡易浴槽・移動用リフトの吊り具</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：介護予防住宅改修に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	06	11	本年	4,500		1,000		5,500	4,461	81.1	
				前年	1,700		1,620	250	3,570	2,564	71.8	
				比較	2,800		620	250	1,930	1,897		
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、手すりの取り付けその他の厚生労働大臣が定める種類の住宅改修を行った場合に支給する。(工事着工前の事前申請が必要)</p> <p>2. 事業の概要 介護予防住宅改修費 手すりの取り付け等の一定の住宅改修を行った場合に行われる保険給付 支給限度額 = 件(200,000円)</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：介護予防サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	07	11	本年	15,000			280	15,280	15,280	100.0	
				前年	15,000			898	14,102	11,785	83.6	
				比較				1,178	1,178	3,495		
<p>1. 事業の目的 要支援1及び要支援2が、都道府県知事の指定を受けた地域包括支援センターから居宅サービス計画(ケアプラン)の作成、事業者との連絡調整等の指定介護予防サービスを受けた場合に支給する。</p> <p>2. 事業の概要 地域包括支援センターから居宅サービス計画(ケアプラン)の作成等、指定介護予防サービスを、要支援被保険者が受けた場合に行われる保険給付 他の保険給付は9割給付とされているのに対し、この給付は10割給付であり利用者負担はない。</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：特例介護予防サービス計画給付に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	08	11	本年	1				1	0	0.0	
				前年	1				1	0	0.0	
				比較								
<p>1. 事業の目的 指定介護予防サービス以外の介護予防サービス又はこれに相当するサービス(基準該当介護予防サービス)、又は離島等において相当するサービスを要支援1及び要支援2が受けた場合に給付する。</p> <p>2. 事業の概要 特例居宅サービス給付に要する経費と同様、指定介護予防サービス以外の介護予防サービス又はこれに相当するサービス(基準該当介護予防サービス)、又は離島等において相当するサービスを要支援1及び要支援2の方が受けた場合に行われる保険給付</p> <p>3. 事業の成果及び効果 申請がないため未達成である。</p>												

事業名：審査支払手数料に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	01	11	本年	11,500				11,500	10,583	92.0	
				前年	11,191				11,191	10,200	91.1	
				比較	309				309	383		
<p>1. 事業の目的 介護サービス事業者及び介護予防サービス事業者の被保険者への給付サービス費の請求に対する審査支払、各種居宅介護サービス費に係る費用の支給等を行い事業の円滑な推進を図る。</p> <p>2. 事業の概要 介護給付費審査支払手数料 1件 = 95円</p> <p>3. 事業の成果及び効果 目標どおり達成できた。</p>												

事業名：介護予防特定高齢者施策事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	51,554		16,831		34,723	30,943	89.1	
				前年	13,098		4,452		8,646	7,380	85.4	
				比較	38,456		12,379		26,077	23,563		
<p>1. 事業の目的 ・要介護状態となるおそれの高い虚弱な高齢者を対象として、介護予防事業を実施することにより、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。</p> <p>2. 事業の概要 ・特定高齢者把握事業(生活機能評価) 生活機能評価(特定高齢者を把握するための作業)は、各保健センターで行う集団健診と医療機関で実施する個別健診にて、特定健診と合わせて実施し、特定高齢者(虚弱高齢者)を抽出し対象として、通所による介護予防事業を実施し、要支援・要介護状態となることの予防を行う。 ・元気クラブ事業(いきいきプラザで実施) 10月から2月にかけて1クール事業実施、運動指導士の指導による運動・口腔ケア・栄養指導、延利用者数182名 ・かるやか教室(高見原第2自治会館、谷田部老人福祉センター、老人福祉センターとよさと、桜老人福祉</p>												

センター市民研修センターで実施)

4月から5会場4クール事業実施, 運動指導士の指導による運動・口腔ケア・栄養指導, 延利用者数1,959名

・はつらつ教室(サンシャイン・ウィルネスクラブ)

5月より1クール12回, 4クール事業実施, 健康運動指導士による運動・健康チェック, 延利用者数47名

・水中教室(アックアセレーネ)

11月~1月, 12回実施, 健康運動指導士による水中運動・健康チェック, 延利用者数12名

3. 事業の成果及び効果

・簡易な器具を用いた運動等を実施することにより運動器の機能向上等がはかられ, 健康の大切さの意識の高揚に資することができた。

事業名: 介護予防一般高齢者施策事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	11	本年	2,000				2,000	1,451	72.6	
				前年	1,717				1,717	1,169	68.1	
				比較	283				283	282		

1. 事業の目的

・介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し, 介護予防に関する知識の普及, 啓発活動の育成・支援, 運動教室等を行う。

2. 事業の概要

・65歳以上の高齢者とその支援のための活動に係わる者を対象として介護予防普及啓発, 地域介護予防活動支援, 介護予防一般高齢者施策評価などを行う。

3. 事業の成果及び効果

・高齢者に健康の大切さ及び介護予防の必要性の理解を得ることができた。

・介護予防の普及啓発に資する運動教室の開催

いきいきプラザにて自主活動支援教室, シルバーリハビリ体操指導士, インストラクターによる出前体操教室を開催した。

自主活動支援教室 実施回数630回 参加者数21,181名

シルバーリハビリ体操指導士 実施回数171回 参加者数2,060名

インストラクター 実施回数42回 参加者数798名

・介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するための講演会等の開催

運動普及推進員継続講座による相談会等の開催。 実施回数6回 参加者数116人

事業名: 任意事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	11	本年	25,558				25,558	23,119	90.5	
				前年	24,741		522		25,263	21,746	86.1	
				比較	817		522		295	1,373		

1. 事業の目的

・高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を継続していくことができるよう, 高齢者及び介護者に対して, 必要な支援を行う。

2. 事業の概要

(家族介護支援事業)

・家族介護者交流事業(介護者のリフレッシュを図る。)

・徘徊高齢者家族支援サービス事業(徘徊高齢者の保護)

・在宅介護慰労金支給事業(要介護者及び介護者が市民税非課税世帯で, 要介護4又は5で介護保険

サービス未利用の高齢者を介護している方に10万円を支給)

・紙おむつ費助成事業(在宅の介護認定者で、常時紙おむつを使用している要支援認定者に12,000円要介護認定者に24,000円を限度に助成。要介護4又は5で市民税非課税世帯に属する方には、48,000円を限度に支給)

(地域自立生活支援事業)

・生活援助員派遣事業(シルバーハウジングへ生活援助員を派遣)

・介護サービス相談員派遣事業(介護サービスを提供している施設等へ相談員を派遣し、利用者及び家族等の相談等を行うことで疑問や不安等の解消を図る。)

3. 事業の成果及び効果

・家族介護者交流事業(日帰り交流会2回実施 参加者44名、宿泊交流会1回実施(14名参加))

・徘徊高齢者家族支援サービス事業(利用者4名)

・在宅介護慰労金支給事業(要介護4の介護者1名)

・紙おむつ費助成事業(申請者数 要支援1 47名・要支援2 15名・要介護1 136名・要介護2 229名・要介護3 281名・要介護4 191名・要介護5 132名)

(地域自立生活支援事業)

・生活援助員派遣事業(12室17名利用)

・介護サービス相談員派遣事業(訪問施設 延184施設)

事業名：包括的支援事業総務に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	02	11	本年	52,821		2,890	49,931	45,784	91.7	
				前年	53,011			53,011	47,900	90.4	
				比較	190		2,890	3,080	2,116		

1. 事業の目的

被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。

2. 事業の概要

相談・情報提供・関係機関の後方支援など、高齢者や地域住民の生活を支援する。

介護予防ケアマネジメント業務 特定高齢者(虚弱高齢者)に対する介護予防ケアマネジメント

総合相談支援業務 高齢者の総合相談対応及び継続的支援

権利擁護業務 認知症高齢者支援及び高齢者虐待防止等の対応

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ケアマネの支援を通して地域包括ケア体制の実現

3. 事業の成果及び効果

介護予防ケアマネジメント業務 192件(20年度末)

総合相談支援・権利擁護業務 1,186件

包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 87件

事業名：財政安定化基金拠出金に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	11	本年	1			1	0	0.0	
				前年	1			1	0	0.0	
				比較							

1. 事業の目的

介護保険財政の安定化を図り、一般会計からの繰入れを回避できるようにするための基金への拠出金。

2. 事業の概要

基金の財源は国の負担、県の負担、市の拠出金(財源は第1号被保険者の保険料)それぞれ1/3ずつ

負担する。基金から市には交付又は貸付けを行うこととなる。

交付は保険料の収納率の悪化により、介護保険財政に不足が生じる場合であり、「貸付」は給付の見込み誤り、収納率の悪化等を理由として財政収支の不均衡が生じた時に行われる。

3. 事業の成果及び効果

財政安定化基金制度(法147条)により積立てるが、今年度支出なし。

事業名：新予防給付ケアマネジメント事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	01	11	本年	11,814				11,814	11,714	99.2	
				前年	11,425				11,425	8,075	70.7	
				比較	389				389	3,639		
<p>1. 事業の目的 要支援者に対し、利用する介護予防サービス等の種類や内容等を定める計画(介護予防サービス計画)を作成するとともに、サービス事業者等との連絡調整を行うサービス(介護予防支援)を行う。</p> <p>2. 事業の概要 ・市町村が設置した地域包括支援センターが高齢者などに対し、介護予防の拠点として福祉、医療、保健の総合相談を行う。 ・介護予防支援(要支援者の予防給付ケアマネジメント)として、次の業務を実施。 介護予防サービス計画書の作成、サービス担当者会議の開催</p> <p>3. 事業の成果及び効果 介護予防支援件数 283 件(20年度末)</p>												

事業名：介護給付費準備基金積立金に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	11	本年	502		119,312		119,814	119,814	100.0	
				前年	158		197,573		197,731	197,731	100.0	
				比較	344		78,261		77,917	77,917		
<p>1. 事業の目的 介護保険財政については、中期財政運営をおこなうため、余剰金を財源にして給付金に当てることになるため、この余剰金を適正に管理するための設置する基金</p> <p>2. 事業の概要 本年度余剰金</p> <p>3. 事業の成果及び効果 余剰金を積立てる。</p>												

事業名：介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
06	01	02	11	本年			76,585		76,585	76,585	100.0		
				前年									
				比較			76,585		76,585	76,585			
<p>1. 事業の目的 介護従事者の処遇改善を図るという平成21年度の介護報酬の改定の趣旨等にかんがみ、当該改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するための設置する基金</p> <p>2. 事業の概要 平成20年度に国補助金を21～23年度分を受け入れる。</p>													

3. 事業の成果及び効果  
国補助金を積立てる。

事業名：一般会計繰出金

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	01	11	本年			62,857		62,857	62,857	100.0	
				前年			64,816		64,816	64,816	100.0	
				比較			1,959		1,959	1,959		

1. 事業の目的

介護保険の対象外費用について、介護給付費実績に比例して一般会計へ繰出す。

2. 事業の概要

介護給付費、職員給与等、事務費の繰出金

3. 事業の成果及び効果

当初見込より介護給付費実績が少なかったため一般会計へ戻した。

事業名：国庫支出金等返還金

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	02	01	11	本年			92,818		92,818	92,816	100.0	
				前年			247,704		247,704	247,701	100.0	
				比較			154,886		154,886	154,885		

1. 事業の目的

介護給付費実績の精算により返還を行う。

2. 事業の概要

介護給付費県負担金返還金

3. 事業の成果及び効果

当初見込みより実績が下回ったため返還する。